

リアホナ

永遠の観点から考える
女性の役割、
26ページ

信仰を持つということは、
本当はどのような意味なのか、
16ページ

青少年が教えるのを指導者が
どのように助けるか、
24ページ

成功体験——わたしたちが
どのように自立したか、
36-41, 54ページ



「善悪をわきまえることができるように、物事を判断することはあなたかたに任されている。

そして、その判断の方法は明らかであり、善悪の違いは昼が闇夜と違うように、完全に理解してわきまえることができる。」



4

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
永遠の家族の愛にあずかる希望
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
ともに家族を養い育てる



表紙

表紙——写真/母親と娘、マシュー・ライアー
西アフリカのガーナで撮影
表紙裏——写真/©iStock/Thinkstock
裏表紙裏——写真/レスリー・ロバーツ

特集

- 16 主の御心と時期を受け入れる
デビッド・A・ベドナー長老
救い主を信じる強い信仰とは、主の御心とそれが行われる時期を従順に受け入れることです。たとえそれが自分の要求と異なってもです。
- 26 女性であること——
永遠の観点から考える
シャロン・ユーバンク
教会において、神の教義の正しい理解と実践は、女性にとって力の源です。
- 32 なくなった聖典
ジーン・R・クック長老
主はわたしたちの祈りにこたえてくださっただけでなく、見知らぬ人の人生をも祝福してくださったのです。

シリーズ

- 8 2016年4月の大会ノート
- 10 わたしたちが信じていること——
十戒を守るべきことを信じる
- 12 熟考——
わたしがモルモン書を愛する
10の理由
デビッド・フルマー
- 13 教会での奉仕——
はるかに偉大な贈り物
クリス・ディーバー
- 14 教会のニュース—— 地域会長会
- 24 救い主の方法で教える——
青少年が教えるのを助ける
ブライアン・K・アシュトン
- 36 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
奇跡
マシュー・カウリー長老



42

42 キリストに根を下ろす

Ｌ・ホイットニー・クレートン長老
イエス・キリストは、豊かな人生の鍵です。キリストに対する深い霊的な根を育てることで、試練の真ただ中にあってもそれに打ち勝ち平安を見いだせるようになります。

49 王位を継ぐ者

キャシー・キップ・クレートン
あなたの永遠の姿にふさわしく生活するために避けるべき3つのこと

こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
探しましょう。
ヒント——
どんなクッキーが
お気に入りですか。



50 弟に救われて

ブリトニー・アン・ハーマン
わたしはこれからもずっと、弟が12歳になったときに一緒に神殿に行こうと誘ってよかったと思うでしょう。何年も後に彼の支えが必要となったのですから。

53 ポスター——
飲み込まれないでください

54 将来に向けて早く取りかかる

ミリアム・ベイ
教会の提供する自立支援クラスに出席してから、ある11歳の少女は地元の地域社会のためにトランポリン事業を始めました。

58 質疑応答

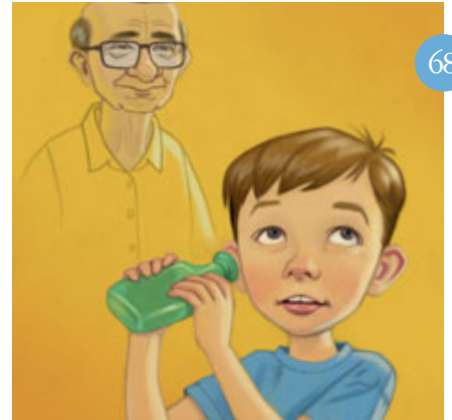
教会に、わたし以外に友達はいないと感じている友人がいます。彼女を助けるために何ができるでしょうか。

60 神の助けによってのみ

ティモシー・J・ダイクス長老
わたしは個人的な経験から、神が討論会から手術室での働きに至るまで、わたしたちが自分の力以上のことを成し遂げられるよう助けてくださると知っています。

63 教会指導者からの答え——
どのようにふさわしくあるか

トーマス・S・モンソン大管長
64 わたしはこのようにして知りました——
神を探し求める
イシマエル・エゼキエル・ポランコ・アルモンテ
何年も真理を探し求めた後、友人とセミナーに行ったときにわたしの祈りはこたえられました。



68

66 いるべき所にいる

ランディー・D・ファンク長老
聖なる場所に立つということは、よいことを行うことです。あなたが聖なる場所に立てるようになるために、どのような方法があるでしょうか。

68 静けさがつまった小さなびん

レイ・ゴールドラップ
数週間後のおじさんのお葬式の後まで、ゲージはおじいちゃんがくれた空のびんのことをあまり考えませんでした。

70 手と心と笑顔

ローラ・グッドリッチ
リディアはお母さんのようにきれいになりたいと思いました。でも、口紅を1本も持っていませんでした。お母さんはリディアに、本当の美しさはどこから来るのか教えてくれました。

72 使徒からの答え——

家族はなぜ大切なのでしょう
D・トッド・クリストファーソン長老

73 わたしたちのページ

74 モルモン書のヒーロー——
証をしたサムエル

75 わたしはモルモン書を読むことができます

76 モルモン書ものがたり——
イエスについて教えるサムエル

79 色をぬりましょう

64

家庭の夕べのためのアイデア

この機関誌には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「わたしがモルモン書を愛する10の理由」

12ページ——この記事が家族と一緒に読み、自分がモルモン書を好きな理由をリストにしてみてください。一人ずつ、自分のリストとモルモン書の好きな聖句を発表してもらってもいいですし、家族で定期的にモルモン書を読み、モルモン書を好きな理由をもっと探そうという目標を立ててもよいでしょう。

「いるべき所にいる」66ページ——

聖なる場所に立つことを選んだファンク長老の経験について読み、67ページの付録の活動を行うとよいでしょう。何がその場所を聖なるものとするのか、また、教会や神殿の中でなくとも、それぞれの人が聖なる場所に立つにはどうすればよいか話し合います。聖なる場所に立つのを助けてくださる聖霊の重要性と役割について話し合います。

インターネットで得られる追加情報

languages.lds.org で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。靈感あふれるメッセージや家庭の夕べのアイデア、友達や家族と分かち合える内容を見つけるために、Facebook.com/iahona.magazine (英語・スペイン語・ポルトガル語) をご覧ください。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 4, 70

証, 63, 74

イエス・キリスト, 12, 16, 42,

73, 75, 76

祈り, 32, 60, 64

教え, 13, 24

改心, 32, 64

家族, 4, 7, 50, 72

家族歴史, 50

神の特質, 26, 49

奇跡, 80

教会への出席, 50, 66

キリストの教義, 26

緊急時の備え, 36

雇用, 38

従順, 10, 42

什分の一, 79

贖罪, 4, 16, 42

食糧貯蔵, 40

自立, 36, 37, 38, 39, 40,

41, 54

神権の祝福, 16, 80

信仰, 16, 38, 42, 60, 80

神殿の業, 4, 50

青少年, 24

聖典, 32

聖霊, 26, 54, 66, 68

セミナー, 64

知恵の言葉, 37, 63

テクノロジー, 53

友達, 58, 64

肉体の健康, 16, 37

負債, 39

ふさわしさ, 63

奉仕, 13, 54, 70

ボルノグラフィー, 63

召し, 13

モルモン書, 12, 63, 74, 75,

76



大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

永遠の家族の 愛

にあずかる希望

愛に満ちた天の御父がその子供たちのために備えてくださったあらゆる賜物たまものの中で、最も大いなるものは永遠の命です(教義と聖約 14:7 参照)。その賜物は、父なる神とその愛子あいしのもとで家族として永遠に住むというものです。日の栄えという神の最高の王国においてのみ、家族生活の愛きずなの絆が続きます。

わたしたちは皆、愛に満ちた家族とともに生きる喜びにあずかりたいと願っています。わたしたちの中にはそのような喜びを経験したことのない人もいます。そのような喜びがあり得ることを知っていても、体験したことがないのです。他の人の生活では目にしたことがあるかもしれません。一方で、子供、母親、父親、兄弟、姉妹、または愛情深い大好きな祖父母と死別したとき、家族の愛というものがもっと現実的で、貴いものであると感じる人もいます。

わたしたちは皆、心から愛した家族、もう一度抱き締めたくてたまらない家族の温かな愛情を、いつの日か再び感じたいと希望を抱いたことがあるはずです。

愛に満ちた天の御父は、わたしたちの心の内を知っておられます。御父の目的は、わたしたちに幸福を与えることにあります(2 ニーフай 2:25 参照)。そのために、永遠に続く家族の絆という喜びを得られるよう、御父は御子という賜物を与えてくださいました。救い主が死の縄目を断ち切られたので、わたしたちは復活します。救い主がわたしたちの罪を贖ってくださったので、わたしたちは信仰と悔い改めによって、日の栄えの王国にふさわしい者となることができ、そこで家族は愛のうちに永遠に結ばれるのです。

救い主は預言者エリヤをジョセフ・スミスのもとに送り、神権の鍵を回復されました(教義と聖約 110 参照)。その

鍵により結び固めの力が与えられ、神の子供たちは神の最も大いなる賜物を授かることができるようになりました。それが家族として永遠に一つに結ばれる永遠の命です。

それは、この世に生を受ける神の子供が誰でも求めることのできる贈り物です。神の霊の子供のうち、3分の1は霊界で神の計画を拒否しました。十分な信仰に欠け、公然と反逆したために、彼らは永遠の家族という天の御父の賜物から得られる喜びを決して知ることのない選択をしたのです。

前世という霊の世界で非常に重要な試験に合格し、死すべき体という賜物を受ける資格を得たわたしたちにとって、永遠の命を授かるかどうかの大いなる選択は、今なおわたしたちに懸かっています。恵まれて回復された福音を見いだせた人は、永遠の命を受けるに必要な資格を得るための聖約を神と交わし、それを守るという選択をすることができます。忠実に堪え忍ぶとき、聖霊は、わたしたちが永遠の命に至る道を歩みつつあり、日の栄えの王国で家族とともに永遠に住むことができるという希望と自信を強めてくださいます。

そのような永遠の喜びは、何かぼんやりとした、淡い希望のようなものであると思う人もいます。親、子供、あるいはきょうだいが永遠の命を受ける資格を失うような選択をしたのかもしれません。皆さん自身が、イエス・キリストの贖罪を通して既にふさわしくなっているのかどうか、心配しているかもしれません。

神の預言者がかつてある勧告をしてくれたことがあり、わたしはそれによって平安を得ています。わたしは、他の人の選択によって、わたしたち家族が永遠に一緒にいられなくなるのではないかと心配していました。預言者はこう言いました。



「そのような心配は無用です。自らが日の栄えの王国にふさわしく生活するだけでよいのです。そうすれば、家族の置かれる状況は、あなたの想像以上に素晴らしいものとなるでしょう。」

個人的な経験、または結婚生活や子供の問題が希望に影を落としている全ての人、または伴侶や子供がい
ない人に対し、次のように証^{あかし}します。天の御父は、御自分の霊の子供として

皆さんを知っていて、愛しておられます。この現世に来る前、皆さんが天の御父とその愛子とともにいたとき、この御二方は、皆さんの心に永遠の命を受けたいという望みを植え付けられました。イエス・キリストの贖罪の力が働くことにより、そして聖霊の導きを受けることによって、皆さんはこの世でも来世にあっても、家族の愛を感じることができます。家族の愛

こそ、御父とその愛子が皆さんにぜひ受けてほしいと強く望んでおられるものなのです。

日の栄えの王国にふさわしく生活するとき、「家族の置かれる状況は、あなたの想像以上に素晴らしいものとなる」という預言者の約束が皆さんに成就することを証します。■

このメッセージから教える

ホームティーチングの始めに、あなたがどんなときに家族が永遠になれるという希望に感謝したか、話すとよいかもしれません。どんなときに永遠の家族について感謝の気持ちを抱いたか、深く考えるように勧めてください。分かち合いたいことがあるか尋ねてください。「家族の置かれる

状況は、あなたの想像以上に素晴らしいものとなる」という預言者の約束が成就するように、日の栄えの王国にもっとふさわしい者として生活するため改善できることを考えるよう勧めるとよいでしょう。

永遠の幸福を分かち合う

福音における最も素晴らしいことの一つは、救いの計画を知っていることにあります。わたしたちには家族とともに永遠に住むという実に素晴らしい機会があります。それを知っていることは、この世の力に負けそうだと思うときに希望を持つ助けとなります。アイリング管長はこう教えています。「愛に満ちた天の御父はわたしたちの心の内を知っておられます。御父の目的は、わたしたちに幸福を与えることにあります（2 ニーファイ 2:25 参照）。そのため、永遠に続く家族の絆という喜びを得られるよう、御父は御子という賜物を与えてくださいました。……それは、この世に生を受ける神の子供が誰でも求めることのできる贈り物です。」

その祝福は、現在生きているわたしたちにも、またこの世を去った人々にも当てはまりますが、この世を去った人にはわたしたちの助けがなければなりません。わたしたちの先祖は現在霊界にいて、わたしたちが彼らの名前を準備して身代わりの神殿の儀式が行われるのを待っています。しかし、時として、先祖のためにその業を



行うことが難しいときがあります。非常に忙しかったり、あるいは神殿から遠く離れて住んでいたりするために、頻繁に参入できないかもしれません。

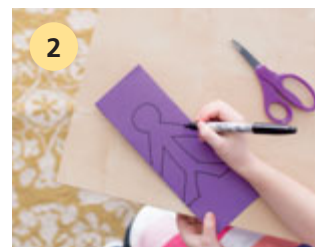
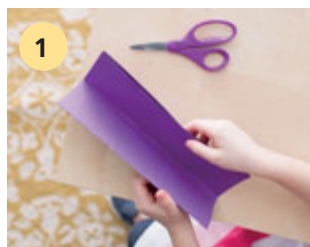
しかし幸いにも、家族歴史の作業を行ったり、索引を作ったり、親が神殿に行っている間に子守りをしたりして、別の方法で先祖を助けることができます。このようにして、主に仕え、そして幕の向こう側にいる人に永遠の家族の希望をもたらすことができるのです。

こども

家族は永遠です

イエス・キリストの贖罪と家族を結び固める神権の力の回復によって、わたしたちは永遠に家族とともに住むことができます。家族のどんどころが好きですか。ここに書いてある方法にしたがって、家族をお祝いするために紙でかざりを作しましょう。

1. 四角い紙を半分に折り、さらに半分に折って、細長い形にします。
2. 中央に人をかき、両手足をのぼしてちょうど紙のはしにくるようにかきます。
3. 線にそって、人の形に切ります。折り目のはしの、手足の部分は切らないようにしてください。
4. 折り目を開きます。家族の一人一人について、好きなところを文字で書いたり、紙でかいたりしましょう。
5. もっとたくさん家族がいるときは、もっとかざりを作って、テープでつなげましょう。



よく祈りながらこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるようお願いしてください。
「家族——世界への宣言」を理解することは、神を信じるあなたの信仰をどのように増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹をどのように祝福するでしょうか。
詳しくは www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn をご覧ください。

ともに 家族を養い育てる

「夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。」¹「家庭は神から与えられた愛と奉仕の実習室です」と、十二使徒定員会会長のラッセル・M・ネルソン会長は述べています。

「天の御父が夫婦に望んでおられるのは、二人が互いに貞潔を守り、自分たちの子供を主から賜った^{しきょう}嗣業として大切に扱うことです。」²

ヤコブはモルモン書で、夫が妻を愛し、妻が夫を愛し、夫と妻が子供たちを愛していることにおいて、レーマン人がある時期、ニーファイ人よりも義にかなっていると判断できる理由の一つになると言っています（モルモン書ヤコブ 3：7 参照）。

家庭に愛と調和をもたらす最も良い方法の一つは、家族に親しく、



つまり優しく語りかけることです。優しく語りかけると聖霊が感じられるようになります。中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は、わたしたちにこう問いかけました。「わたしたちはどれくらい頻繁に、『親しく語り合』っているでしょうか。」³

その他の聖句

ローマ 12：10；モーサヤ 4：15；教義と聖約 25：5

考えてみましょう

お互いに愛と関心を示すと家庭で御霊が感じられるようになるのは、なぜでしょうか。

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
2. ラッセル・M・ネルソン「救いと昇栄」『リアホナ』2008年5月号, 8 参照
3. リンダ・K・バートン「ともに高め合いましょう」『リアホナ』2015年5月号, 31
4. D・トッド・クリストファーソン「真の男になる」『リアホナ』2006年11月号, 46

信仰・家族・扶助



現代の人々の経験から

愛にあふれた家族の大切さを痛切に感じた子供時代の経験を、十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老が語っています。自身も弟たちもまだ幼かった頃のことです。母親は、がんの摘出手術を受けてからというもの、右腕を使うことにひどい痛みが伴うようになりました。男の子ばかりの家族でしたから、アイロンがけは相当な量に上ります。母親は少しアイロンをかけては寝室に行き、痛みが治まるまで泣いていました。

クリストファーソン長老の父親はそれに気づくと、ほぼ1年間、ひそかに昼食を抜いてお金をため、楽にアイロンがけのできる器具を購入しました。妻に愛を示すことによって、父親は家族を養い育てるという模範を男の子たちに示したのです。この愛の行いについてクリストファーソン長老はこう述べています。「わたしも、当時、父が母のためにそこまで犠牲を払い、愛に満ちた行動を取っていたことなど知りませんでした。でも、それが分かった今、わたしは心の中でこう言いました。『まさに男の中の男だ』と。」⁴

2016年4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」
(教義と聖約1:38)

2016年4月の総大会を振り返る際に、このページ(および今後の大会ノート)を使って、
生ける預言者と使徒、他の教会指導者が語った最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。



教義的な重要点

わたしたちの罪の赦し^{ゆる}

「水に沈めるバプテスマの儀式、聖霊の賜物を授けるための^{あんしゆ}按手、そして^{せいさん}聖餐はそれぞれ切り離された、別々の事柄ではありません。むしろ、^{あがな}贖いを通じた進歩に必要な要素であり、相互に関連し累積していく規範です。一連の儀式はそれぞれが、わたしたちの霊的な目的、望み、働きを高め、広げます。御父の計画、救い主の^{しよく}贖罪、そして福音の儀式は、わたしたちが永遠の行く末に向かって教えに教え、訓戒に訓戒を加えて前進するのに必要な恵みを与えてくれます。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老
「いつも罪の赦しを保つ」『リアホナ』2016年5月号, 62

預言者の約束



永遠

「今夜わたしは……、天の御父が用意された幸福の計画に加わるための必須事項について描写したいと考えています。生まれる前、わたしたちは昇栄された永遠の天の御父と家族として住んでいました。御父はわたしたちが御自身に似た者となれるよう、計画を作られました。それは御父の^{あかし}愛の証でした。その計画の目的は、わたしたちに天の御父のように永遠に生きる特権を与えることでした。この福音の計画は、試しを受けるためのこの世の人生を与えてくれました。イエス・キリストの贖罪を通して、福音の律法と神権の儀式に従うなら、御父の最大の賜物である永遠の命を受けるという約束が与えられました。」

大管長会第一顧問
ヘンリー・B・アイリング管長
「永遠の家族」
『リアホナ』2016年5月号, 81

類似点を見つける

男性の神聖な役割

同じ福音のテーマで複数の話者が話すことが時折あります。3人の話者が男性の神聖な役割について語ったことを次に挙げます。

- 夫 ——「天の御父があなたを大切にしてください。妻……を大切にしてください。」—— ヘンリー・B・アイリング「永遠の家族」83
- 神権者 ——「神権を担う者としての特権にふさわしくな〔ってください〕。来るべき時代では、神権を本気で受け止め、主から教えを受けることを熱心に求める人でなければ、他の人を祝福し、導き、守り、強め、癒やすことはできません。」—— ラッセル・M・ネルソン「神権の力を得るための代価」68
- 父親 ——「父親の役割は、その起源が神にあって、天の御父から始まり、この死すべき世においては父祖アダムから始まります。……
……父親の務めは犠牲を要します……。
子供の母親を愛すること、その愛を示すことは、父親が子供のためにできる二つの最善のことで、これが子供の家庭生活と安全の基盤となる夫婦の絆を確かなものとし、強めます。」—— D・トッド・クリストファーソン「父親」94, 95



大会で話されたすばらしい物語

物語以上にわたしたちの心を引くものがあるでしょうか。以下は、総大会で話された多くの物語です。

- モクレンの花と、愛が自分の生活に他の人々を受け入れる場所を設けることとの関係はどのようなものでしょうか。—— ニール・F・マリOTT「わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」10 参照
- ヘイルズ長老はなぜステーキ大会が終わってからも全員と握手をするためにとどまったのでしょうか。—— ロバート・D・ヘイルズ「聖霊」105 参照
- 父親を殺され、兄弟のうち3人が行方不明になったイベット・ブギンゴは、11歳まで難民でした。彼女の物語はどのような結末を迎えたのでしょうか。—— リンダ・K・バートン「わたしが旅人であったときに」13 参照
- 教会員ではない家庭で育った末日聖徒の子供たちのこれらの物語は、わたしたちに何を行うよう促すでしょうか。—— ニール・L・アンダーセン「だれでも〔彼ら〕を……受け入れる者は、わたしを受け入れるのである」49 参照

「従順は
信仰の生命線です。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ウークトドルフ管長
「主はあなたを肩に乗せて
家に連れ帰ってくださるでしょう」
「リアホナ」2016年5月号, 104

総大会の説教を読んだり、視聴したりするには、
lds.org/general-conference?lang=jpn に
アクセスしてください。

十戒を守るべきことを信じる

十戒は旧約聖書に登場する戒めですが(出エジプト20:1-17参照),末日聖徒はその戒めが旧約聖書の時代だけでなく,あらゆる時代に当てはまる教えであることを知っています。アビダナイはモルモン書の中で十戒を教えていますし(モーサヤ12:33-36;13:13-24参照),近代になって主は改めて預言者ジョセフ・スミスに対して,その十戒を啓示されました(教義と聖約42:18-29;59:5-13参照)。

現在,多くの社会においてこれらの戒めが軽んじられていますが,わたしたちはそれがまだ有効な教えであることを信じています。トーマス・S・モ

ンソン大管長はこう説明しています。

「かつては不適切で不徳とされていた行動が,今では容認されているばかりか,多くの人から好ましいと思われています。……

世の中は変わりましたが,神の律法は不変です。変わってはいません。これからも変わらないでしょう。十戒は文字どおり,戒めです。提案などではありません。その戒めは,神がイスラエルの子らにお与えになったときと同様,今でもどこをとっても不可欠な教えです。」¹

わたしたちは,この戒めに従っていない人々を悪く言うことはありません。むしろ,自分自身の生活を振り返り,

わたしたちに与えられたこの神聖な教えに,どれほど従って生活をするのか決意するだけです。

十戒は,わたしたちの基本的な行動規範を示すもので,二つに分けて考えることができます。一つは神とどう向き合うかというもの,もう一つは人とどう接するかということです。わたしたちが生活の中心に神を置くことができるよう,神は他のいかなる神も礼拝しないように,また安息日を聖とし,汚い言葉や偶像礼拝を避けるように命じておられます。また,神の子供たちを愛せるように,両親を敬い,盗んだり,殺したり,偽証をしたり,むさぼったり,姦淫^{かんいん}を犯したりしないように命じておられます。

神はその預言者たちに絶えず啓示しておられるために,神がわたしたちに何を期待しておられるのか,もっと分かってきましたが,従順への道は,今でも十戒を守ることから始まるのです。「神の律法はわたしたちに対する神の愛の現れであり,その律法に従うことは神に対するわたしたちの愛の表現です。」² ■

「律法の中で,どのいましめがいちばん大切なのですか。」救い主のお答えについてはマタイ22:37-40を参照。

注

1. トーマス・S・モンソン「聖なる地に立つ」『リアホナ』2011年11月号,83
2. キャロル・M・スティーブンス「もしあなたがたがわたしを愛するならば,わたしの戒めを守るべきである」『リアホナ』2015年11月号,120

戒めはわたしたちの幸福のためにある



「神の戒めは,わたしたちをいらつかせ,幸福の妨げとなるように与えられているわけではありません。実際は,まったくその反対です。わたしたちを創造され,完全に愛してくださっている神は,わたしたちが得ることのできる最高の幸福を手にするために,どのように生活する必要があるかを御存じです。……

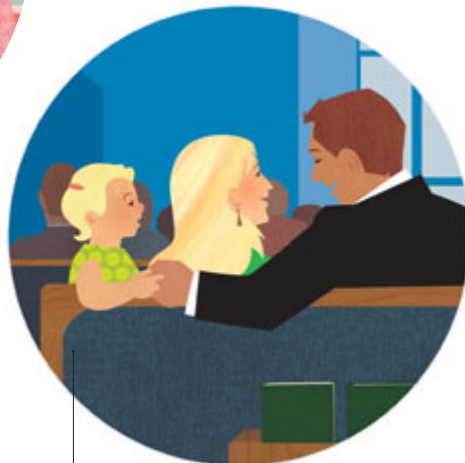
天の御父はわたしたちを愛しておられ

るので,次のように言われました——あなたは偽証してはならない。あなたは盗んではならない。あなたは姦淫^{かんいん}してはならない。自分を愛するように隣人を愛せよ,などです。わたしたちは戒めを知っています。わたしたちが戒めを守るとき,もっと幸せで,満ち足りて,煩い^{わづら}がより少ない生活を送れるようになることを,神は理解しておられます。」

トーマス・S・モンソン大管長
「戒めを守りなさい」
『リアホナ』2015年11月号,83

現代においてこの戒めに従って生活するとはどういうことか、その例を幾つか紹介します。

「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。」
(出エジプト 20 : 3)
大半の人々は、今では金の牛を礼拝するよう誘惑されることはありませんが、名声や財産といった「偶像」を礼拝しないようにする必要があります
(2 ニーファイ 9 : 30 参照)。



「安息日を覚えて、これを聖とせよ。」
(出エジプト 20 : 8)
安息日を聖とすることで、
「〔神の〕栄光にひたすら目を向ける」ことができるようになります (教義と聖約 88 : 67)。

「あなたの父と母を敬え。」
(出エジプト 20 : 12)
この戒めには、わたしたちの先祖や両親、そして天の父母を敬うことも含まれています。



「あなたは^{かんいん}羨望してはならない。」
(出エジプト 20 : 14)
清い思いを持つことは、この戒めを守る助けになります
(教義と聖約 42 : 23 参照)。



「あなたは隣人の家をむさぼってはならない。」
(出エジプト 20 : 17)
むさぼるようになると、とりわけ不満や不幸がもたらされます。

わたしがモルモン書を愛する 10 の理由

デビッド・フルマー

イエス・キリストの二つ目の証であるこのすばらしい書物は、他では見いだすことのできない教えと教義を教えてください。

わたしはモルモン書が大好きです。モルモン書を好きな理由を大まかに言うと、モルモン書には読み手を「その教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づ〔ける〕こと〔の〕できる」力があるためです。おそらく、預言者ジョセフ・スミスがモルモン書を「わたしたちの宗教のかなめ石」であり「この世で最も正確な書物」と述べたのはこのためでしょう。¹

しかし、わたしがモルモン書を愛する理由にはもっと具体的なものもあります。幾つもの中から、10 の理由を紹介します。

モルモン書は ——

1. 歴史の中の、ある期間に、他の期間に生きる読み手、つまりわたしたちが用いるために記録された。モルモン 8：16, 34 - 35 参照
2. 末日に騒乱を広めるルシフェルの方法を明確に述べている。2 ニーフアイ 28：3 - 29 参照
3. 人の弱さは、謙遜になってキリストのもとに来れば、強くなる機会となると宣言している。エテル 12：27 参照
4. 慈愛とはキリストの純粋な愛であり、具体的なステップを踏むと神から与えられる賜物であると定義づけている。モロナイ 7：43 - 48 参照

5. 全てのものに反対のものがなければならぬことを明確に伝えている。2 ニーフアイ 2：11 - 13 参照
6. 憐れみが正義の要求を満たすことができるのはどのような場合かを明確に述べている。アルマ 34：11 - 30 参照
7. イザヤの言葉を研究するようにという具体的な指示が二つの民に向けて記録されており、そのうちの一つはわたしたちである。2 ニーフアイ 25：4 - 8；モルモン 8：23 参照

8. 旧約聖書で預言されているとおり、聖書と対になって、神と人間との関係について証している。エゼキエル 37：15 - 20；2 ニーフアイ 28：29；29：3 - 8 参照
9. モルモン書を読み、キリストを信じる信仰をもって誠心誠意祈るならば、主はそれが主の言葉であることを明らかにしてくださいという約束が含まれている。モロナイ 10：4 - 5 参照
10. 救い主は苦しみを受けたことにより、わたしたちの試練を完全に理解し、わたしたちが苦しんでいるときに救うことができようになることを教えている。アルマ 7：11 - 13 参照



何より、わたしがモルモン書を愛する最大の理由は、それが、イエスがキリストであられるという明確な証だからです。イスラエル之家に属し、主と交わした神聖な聖約を守る全ての人を主はやがて贖われると約束されている点が好きです。モルモン書は現代の奇跡です。神御自身からわたしたちへの愛の賜物です。■

著者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. ジョセフ・スミスの言葉、モルモン書序文で引用

はるかに偉大な贈り物

クリス・ディーバー

レイノルズ兄弟はわたしたちを教えるだけでなく、わたしたちを愛していました。

わたしが初等協会の最後の年を迎えたとき、新しい教師が召されました。レイノルズ兄弟です。白髪にしわくちゃな顔で、大恐慌の話や、第二次世界大戦に従軍した話をします。最初は自分とは無関係の、遠い昔に起こったつまらない話だと思いました。

一度、友達とわたしがクラスでいたずらをしたことがありました。レイノルズ兄弟はわたしを自分の脇に連れて来ると、直接わたしに言いました。「いい子にしてくれ。最大限努力してほしい。」それだけでした。それまで、友達もわたしもよく観察していませんでしたが、このことがあって間もなく、レイノルズ兄弟の特質が分かってきました。わたしたち生徒のことを深く心に掛けていて、生徒を愛する以外のことは眼中にないのです。

レイノルズ兄弟は、救い主イエス・キリストについての証を常に伝えてくれました。キリストを中心とした生活には力が宿ることを、目を輝かせて教えてくれました。その話は想像力を刺激し、主に仕えたいという意欲をかき立てる、生き生きとした冒険談になりました。

彼が教えてくれた預言者ジョセフ・スミスについてのレッスンを、わたしは今でも覚えています。ジョセフも当時のわたしたちのようにかつては少年だったことを証してくれました。主はジョセフに抱いていたのと同じ大きな期待をわたしたちに抱いておられる、と目に涙をためて言いました。ジョセ

フのように、わたしたちが救い主を身近に感じながら生活するならば、人生で偉大なことをなすだろう、世界を変えるかもしれない、とまでレイノルズ兄弟は言ってくれました。

数年たち、友達とわたしが高校生になっていた頃、レイノルズ兄弟がアンズの木を剪定してくれる人を探していることを小耳に挟みました。わたしたちは喜んで剪定しました。木にはしごをかけ、数時間かけて枝を払ったのです。手間のかかる仕事でしたが、レイノルズ兄弟が喜んでくれていることが分かっていました。

同じ年、レイノルズ兄弟には新しい聖典が必要だということを知りました。レイノルズ兄弟のは古くてぼろぼろで、背表紙がほころびていたのです。わたしたちはお金を出し合って、美しい革

製の四大聖典に名前を入れたものを買いました。そして、ワードのクリスマスパーティーでプレゼントしたのです。レイノルズ兄弟は、自分を喜ばせてくれたわたしたち少年を見てうれしそうにほほえみ、目を潤ませて喜んでいました。その姿を、わたしは決して忘れません。

レイノルズ兄弟が亡くなったことを知ったのは、その数年後、わたしが大学に行くようになってからのことです。家を訪ねて奥さんと子供たちに会い、レイノルズ兄弟を深く尊敬し、彼に感謝していたことを伝えました。レイノルズ兄弟の子供や孫たちが皆幸せそうにしているのを見て、この偉大な人物に出会えたことがいかに大きな祝福であったかを悟りました。

「夫はあなたたちのことを愛していたのよ」と、レイノルズ姉妹は目に涙をためながらほほえんで言いました。「あなたたちを本当に愛していたのよ。」

正しいことに目を向けることが難しい世の中で、レイノルズ兄弟は天の御父と御子と自分たちの関係が最も大切だということを教えてくれました。わたしたちはレイノルズ兄弟の家の木の枝を切り、彼に新しい聖典をプレゼントしました。しかし、レイノルズ兄弟は、はるかに偉大な贈り物をわたしたちにくれたのです。それは、救い主イエス・キリストに対する尽きることのない愛という贈り物です。■

筆者はアメリカ合衆国カリフォルニア州在住です。



教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は
news.lds.org にアクセスしてください。

新しい地域指導者が割り当てられる

大管長会は、2016年8月1日より有効になる、地域指導者の割り当ての変更を発表した。地域会長会を構成するのは全て中央幹部七十人である。

七十人は、大管長会の指示の下で啓示によって召され、十二使徒が世界中

で教導の業を行うのを支援している。

キリストは地上で務めを果たしている間に七十人を召し、十二使徒と似た方法で七十人に指示を与え、彼らを「先に」遣わされた。彼らの声に聞き従う人々は主の声に聞き従うと説明しておられる（マタイ10：1、16－17；

ルカ10章参照）。

預言者ジョセフ・スミスに1835年に与えられた啓示の中で、主はとりわけ「七十人が七十人の人々の中から選ばれた七人の会長によって管理されることは、七十人の秩序」であることを明らかにされている。■

七十人会長会



L・ホイットニー・クレイトン
全地域を支援



ドナルド・L・ホールストロム
北アメリカ北西地域
北アメリカ西地域



リチャード・J・メインズ
北アメリカ南東地域



クレイグ・C・クリステンセン
ユタ北地域
ユタ・ソルトレーク・シティー地域
ユタ南地域



ウリセス・ソアレス
アイダホ地域
北アメリカ中央地域



リン・G・ロビンズ
北アメリカ南西地域



ジェリット・W・ゴング
北アメリカ北東地域

アフリカ南東地域



スタンレー・G・エリス
第一顧問



ケビン・S・ハミルトン
会長



S・マーク・パーマー
第二顧問

アフリカ西地域



マーカス・B・ナッシュ
第一顧問



テレンス・M・ビンソン
会長



バーン・P・スタンフィル
第二顧問

アジア地域



ウエン
黄(サム)
志康
第一顧問



ランディー・D・ファンク
会長



デビット・F・エバンス
第二顧問

アジア北地域



山下和彦
第一顧問



スコット・D・
ホワイティング
会 長



チェン ユンファン
崔 嵩煥
第二顧問

ブラジル地域



マルコス・A・
アイドカイトイス
第一顧問



クラウディオ・
R・M・コスタ
会 長



W・マーク・
バセット
第二顧問

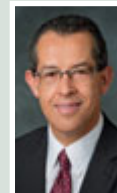
カリブ海地域



クラウディオ・D・
シビック
第一顧問



ウォルター・F・
ゴンサレス
会 長



ヒューゴ・E・
マルチネス
第二顧問

中央アメリカ地域



アドリアン・
オチョア
第一顧問



ケビン・R・
ダンカン
会 長



ホセ・L・
アロンソ
第二顧問

ヨーロッパ地域



ポール・V・
ジョンソン
第一顧問



パトリック・
キアロン
会 長



ゲーリー・B・
サビン
第二顧問

ヨーロッパ東地域



ジェームズ・B・
マルティノ
第一顧問



ブルース・D・
ポーター
会 長



ラリー・S・
ケーチャー
第二顧問

メキシコ地域



アルヌルフオ・
パレンスエラ
第一顧問



ポール・B・
パイパー
会 長



ラファエル・E・
ピノ
第二顧問

中東／アフリカ北地域



ラリー・R・
ローレンス



ウィルフォード・W・
アンダーセン

教会本部が管理

太平洋地域



S・ギフォード・
ニールセン
第一顧問



O・ビンセント・
ハレック
会 長



クレグ・A・
カードン
第二顧問

フィリピン地域



アレン・D・
ヘイニー
第一顧問



シェーン・M・
ポーエン
会 長



エバン・A・
シュムツ
第二顧問

南アメリカ北西地域



ローレンス・E・
コーブリッジ
第一顧問



カルロス・A・
ゴドイ
会 長



ウーゴ・
モントヤ
第二顧問

南アメリカ南地域



アラン・F・
パッカー
第一顧問



ジョセ・A・
ティシエラ
会 長



マーク・A・
ブラッグ
第二顧問





主の御心と時期を 受け入れる

救い主を信じる強い信仰とは、人生における主の御心と
それが行われる時期を従順に受け入れることです。
たとえそれが自分の期待や要求と異なってもです。

二ール・A・マックスウェル長老は主イエス・キリストの愛弟子であり、十二使徒定員会の会員として、1981年から2004年までの23年間奉仕しました。彼の教えから発せられる霊的な力と忠実な弟子としての模範は、回復された救い主の教会の会員と世界中の人々を驚くべき方法で祝福してきました。それは、今日のわたしたちをも祝福しています。

1997年10月、妻のベドナー姉妹とわたしはブリガム・ヤング大学アイダホ校（旧リックスカレッジ）にマックスウェル長老夫妻を迎えました。マックスウェル長老は、学生と教職員に向けてデイポーショナルで話すことになっていました。

その同じ年の初め、マックスウェル長老は白血病のために、46日間にわたって昼夜を問わず、体力を消耗させてしまう化学療法を受けました。春から夏の間にかけて行われたリハビリと継続的な治療が功を奏したとはいえ、レックスバーグまで旅するには、マックスウェル長老の体力とスタミナには限界がありました。妻とわたしは空港でマックスウェル長老夫妻を迎えてから、二人を車に乗せて自宅に向かいました。一休みして、デイポーショナルの前に軽い昼食を取ってもらうためでした。

わたしは、マックスウェル長老がこの病気からどんな教訓を得たのか尋ねてみました。彼の明確で魂に突き刺さるような答えは、決して忘れません。長老は言いました。「デーブ、身を引かないことは生き延びることよりも重要だってことだよ。」



この夫婦が癒やされたい
という自分たちの強い、
しかも無理からぬ願いが
「御父の御心にのみ込まれて
しま〔っても〕よい
と考えるようになる様子
を見て(モーサヤ 15:7)、
わたしの信仰は
強められました。

わたしの問いに対する長老の答えは、彼が化学療法を受けていたときの大変な個人的経験から得た原則です。1997年1月、1期目の治療の開始予定日が来ました。マックスウェル長老は妻の方を見ると、その手を握って、深くため息をつき、こう言いました。「絶対にここで身を引くわけにはいかないんだ。」

マックスウェル長老は、1997年10月の総大会の話の中で、非常に誠実に次のように教えました。「……試練や苦難に遭うとき、わたしたちも、イエスがされたように、御父に助けを求めることができます。『身を引く』すなわち逃げ出すことがないように祈るのです(教義と聖約 19:18)。身を引かないことは、生き延びることよりも重要です。さらに、恨みを抱かず(なら)に苦難を経験するのは、イエスの行為に倣うことでもあるのです。」¹

救い主が無限で永遠の贖いの犠牲をささ

げられたときの苦しみに関する聖文は、さらにわたしの心を打ち、一層意義深いものになりました。

「見よ、神であるわたしは、すべての人に代わってこれらの苦しみを負い、人々が悔い改めるならば苦しみを受けることのないようにした。

しかし、もしも悔い改めなければ、彼らはわたしが苦しんだように必ず苦しむであろう。

その苦しみは、神であって、しかもすべての中で最も大なる者であるわたし自身が、苦痛のためにおののき、あらゆる毛穴から血を流し、体と霊の両方に苦しみを受けたほどのものであった。そしてわたしは、その苦い杯を飲まずに身を引くことができればそうしたいと思った。

しかしながら、父に栄光があるように。わたしは杯を飲み、人の子らのためにわたしの備えを終えたのである。」(教義と聖約 19:16 - 19)

救い主は、ゲツセマネでもゴルゴタでも、身を引くことはなさいませんでした。

マックスウェル長老も、身を引くことをしませんでした。この力強い使徒は確固として歩みを進め、祝福として地上にとどまる時間を長くされ、愛し、仕え、教え、証(あかし)しました。長老が人生の最期の数年間に言葉と行い(あかし)とで示した献身的な弟子としての模範は、驚嘆すべきものです。

わたしたちのほとんどは、マックスウェル長老のような高い霊性と経験を持つ偉大な人物になって神の幸福の計画を理解し、確信と品格を身につけて重い病や死に堂々と立ち向かえるようになれたらよいのに、と思っているはずですが。しかし、わたしが証(あかし)したいのは、そのような祝福は中央幹部やわずかばかりの選ばれた教会員に限りて与えられるのではないということです。

わたしは十二使徒定員会の召しを頂き、割り当てを受けて旅をする中で、世界中の忠実で勇気ある優れた末日聖徒と知り合うことが

できました。その中で、わたしの人生に祝福を与えてくれた一組の若い男女についてお話ししたいと思います。彼らは身を引かないことについて、また個人的な思いを「御父の御心にのみ込ませる」(モーサヤ 15:7) ことについて霊的に不可欠な教訓を、わたしに教えてくれました。

これは実話であり、登場する人物は実在しますが、実名を使うのは控えたいと思います。彼らの日記から幾つか読み上げますが、許可は得ています。

「わたしの思いではなく、父のみこころが成るように」

ジョンはふさわしい神権者で、専任宣教師として忠実に働きました。そして伝道から帰ると、義になかったすばらしい若い女性のヘザーと交際して結婚しました。ジョンが23歳でヘザーが20歳のとき、二人は主の宮でこの世と永遠にわたって結び固められました。

神殿結婚から約3週間後、ジョンは骨肉腫と診断されました。がん細胞は肺にも見つかり、見通しはよくありませんでした。

ジョンは日記にこう記録しています。「生涯で最も恐ろしい一日だった。がんの宣告を受けたからばかりでなく、結婚して間もないのに夫として失格だと感じたからだ。新しい家族を養い、守るはずが、たった3週間でのこの有様だ。自分

はだめなやつだと思った。」

ヘザーはこう記しています。「とんでもない知らせだった。ばら色の将来が一変してしまった。ジョンの検査結果を待つ間、病院の待合室で結婚祝いの礼状を書いていた。でも、ジョンががんだと分かってからは、電気調理器もお鍋もどうでもよくなった。生涯最悪の日だった。それでも、その晩床に就く前に、二人が神殿で結び固められていることに感謝の祈りをささげたことを覚えている。病院ではジョンが治る見込みはわずか30パーセントだと言われたけれど、わたしたちが忠実でいる限り、100パーセントわたしたちは永遠に一緒にいられる。」

約1か月後にジョンの化学療法が始まり、ジョンはそれについて次のように書いています。「化学療法のために今まで味わったことのないほど具合が悪くなった。髪は抜け落ち、体重は19kg減り、体がばらばらになったような感じだった。

化学療法は情緒面にも、精神面にも、そして霊的な面にも影響を及ぼした。化学療法を受けている期間は、まるでジェットコースターに乗っているかのように気持ちの浮き沈みが激しかった。しかしその期間中ずっと、ヘザーとわたしは、神がわたしの体を癒やしてくださるという信仰を持ち続けた。きっとそうだと信じていたから。」

ヘザーは自分の考えや気持ちをこう書いています。「ジョンを夜、病院で独りにすることには耐えられなかったので、わたしは毎晩病室の小さなソファで寝た。日中はたくさんの友人や家族が見舞いに来てくれるけれど、夜は一番つらかった。病室の天井を見詰めては、天の御父はわたしたちにどんな計画をお持ちなのだろうかと考えた。悪いことばかり考えてしまうこともあり、ジョンを失う恐怖に打ち負かされそうになることもあった。でも、こういう思いは天の御父から来るものじゃないことは分かっている。慰めを求めて祈ることが多くなってくると、主は耐える力をわたしに与えてくださった。」

3か月後、ジョンは足の大きな腫瘍を取り除くための外科手術を受けました。手術から2日後、わたしは病院にジョンとヘザーを訪ねました。わたしたちは伝道中にわたしがジョンと初めて会ったときのことや、彼らの結婚について、がんについて、それから現世の試練から学ぶ永遠にわたって大切な教訓について語り合いました。訪問を終えて帰ろうとすると、ジョンは神権の祝福をしてくれないかとわたしに頼みました。喜んでそうすると伝えましたが、その前に幾つか質問をする必要がありました。

それからわたしは、自分でも思いがけない、しかもこれまでに一度も考えたことのない質問を投げかけたのです。「ジョン、君は病が癒やされなくても信仰を保っていられるかい。もしもその若さで亡くなって活動の場が霊界に移り、そこで務めを果たすことが天の御父の御心だとしたら、御心に従って癒やされないことをよしとする信仰が持てるかな。」

聖文ではしばしば、救い主やその僕が癒やし^{しもべ}の霊的な賜^{たま}物^{もの}を行使し(1コリント12:9; 教義と聖約35:9; 46:20参照)、本人に癒やされる信仰があることを見抜いておられます(使徒14:9; 3ニーファイ17:8; 教義と聖約46:19参照)。しかしこの夫婦とわたしはともに話し合い、これら

現世の最も偉大な

祝福の一つは、

身を引かないでいられること、

そしてわたしたち

一人一人の思いが

「御父の御心にのみ込まれて」

もよいと考えられるよう

なることです。



**この若い夫婦が
あらゆる霊的苦悩の中でも
最も過酷と言える、
神の御心に自分の意思を
従わせるという決断を
下す様子を見て、
わたしの心は
感謝と称賛の気持ちで
いっぱいになりました。**

の質問と苦闘するうち、もしもこの善良な若者が癒やされることが神の御心なら、この勇気ある夫婦がまず、癒やされないことについての信仰を持って初めてその祝福が与えられるということが、次第に理解できるようになりました。別の言葉で言えば、ジョンとヘザーは主イエス・キリストの贖いを通して、誰もが持っている「生まれながらの人」(モーサヤ3:19)の性癖を克服する必要があるのです。その性癖とは、自分が欲しいと思ったり、もらって当然だと思いついていたりしている祝福を性急に、しかも絶えず要求してしまうことです。

わたしたちは、献身的な弟子に必ず当てはまる一つの原則があることを知っています。すなわち、救い主への強い信仰によって、人生における主の御心とそれが行われる時期が、たとえ自分の期待や要求と異なっても従順に受け入れるということです。もちろんジョンとヘザーも勢力と思いと力を尽くして、癒やされることを願ってやみませんでした。しかし、それ以上に重要なのは、この夫婦が「子供が父に従うように、主が〔彼ら〕に負わせる

のがふさわしいとされるすべてのことに喜んで従う」ことなのです(モーサヤ3:19)。実際彼らは進んで「〔彼ら〕自身をキリストへのささげ物としてささげ」ようとしており(オムナイ1:26)、謙遜に「父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください」と祈りました(ルカ22:42)。

初めは、わたしたち3人にとって理解しにくい質問であったものが、実は一見矛盾したように見える福音の原則であることが分かってきました。救い主の次の勧告を考えてみてください。「自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。」(マタイ10:39) また、次のようにもおっしゃっています。「しかし、多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう。」(マタイ19:30) そして主は末日の弟子たちにもこう勧告されました。「あなたの言葉によって多くの高い者が低くされ、またあなたの言葉によって多くの低い者が高く

されるであろう。」(教義と聖約 112:8) ですから、癒やされないことについて信仰を持つということは、知識と知力を増すためには求め、捜し、たたくことが必要であるという一見矛盾した福音の原則と、見事に調和しているように思われました(3 ニーファイ 14:7 参照)。

ジョンは、わたしの問いについてじっくり考え、妻ともよく話した後にこう言いました。「ベドナー長老、わたしは死にたくありませんし、妻を残してこの世を去るのも嫌です。それでもわたしを霊界へ連れて行くことが主の御心なのであれば、それでいいのではないかと思います。」

この若い夫婦があらゆる霊的苦悩の中でも最も過酷と言える、神の御心に自分の意思を従わせるという決断を下す様子を見て、わたしの心は感謝と称賛の気持ちでいっぱいになりました。この夫婦が癒やされたいという自分たちの強い、しかも無理からぬ願いが「御父の御心のみ込まれてしま〔っても〕」よいと考えるようになる様子を見て(モーサヤ 15:7)、わたしの信仰は強められました。

ジョンは、わたしたちの会話の結果自分が取った行動と受けた祝福について、このように書いています。「ベドナー長老は、身を引かないことは生き延びることよりもすばらしいというマックスウェル長老の言葉を教えてくれた。それからベドナー長老にこう尋ねられた。『癒やされる信仰を君が持っていることは分かるけれど、癒やされないことについての信仰はあるかい。』これは意外だったが、要するに、癒やされないことが神の御心だとしたら、それを受け入れるだけの信仰があるかどうかを聞いていたのだ。死んで霊界へ行く時が自分に迫っているのだとしたら、それを従順に受け入れる備えが自分にはできているだろうか。」

ジョンは続けてこう書いています。「癒やされない信仰を持つということは矛盾しているようにも思えたが、そのおかげでわたしたち夫婦の物の見方が変わり、妻とわたしは御父が用意してくださった計画に全幅の信頼を寄せるようになった。何が起ころうとも主が責任を持ってくださり、今いる場所から、行くべき場所へと主が導いてくださるという信仰が必要だということが分かった。妻と祈るときは、『健康にしてください』ではなく、『主が用意しておられる結末がどのようなものであっても、それを受け入れる信仰をお与えください』

と願うようになった。

ベドナー長老は使徒なのだから、わたしの体が元どおりになるよう彼が祝福してくださったら、わたしはベッドから飛び起きて踊り始める、そんな劇的なことが起こるに違いないと思っていた。しかし、彼がその日わたしを祝福したとき、その口から出た祝福の言葉が、わたしの父や義父、それに伝道部会長が述べた言葉とほとんど同じだったことに驚いたのである。神の力は不変であり、その御心はわたしたち一人一人に、権威ある僕を通して知らされるのだ。」

ヘザーはこう記しています。「今日は複雑な気持ちでいっぱいだった。ベドナー長老がジョンの頭に手を置いたとき、がんは完全に癒やされると確信していた。神権の力によって夫が癒やされることは分かっていたし、そうなるよう必死に願っていた。ベドナー長老から、癒やされないことへの信仰について教えられてからは、怖くてたまらなかった。そのときまで、結婚したばかりの夫を失うことが主の計画の一部なのかもしれないという事実と向き合ったことなど一度もなかったから。わたしの信仰は、自分の望む結果に左右されていた。言ってみれば薄っぺらな信仰だったのだ。初めのうちは茫然自失^{ぼうぜんじしつ}だったが、癒やされないことに信仰を

持つという言葉のおかげで、結局は不安から解放された。その言葉のおかげで、天の御父はわたし以上にわたしのことを御存じで、わたしとジョンにとって最善のことをしてくださいということが分かり、主に完全にお任せできるようになったからだ。」

祝福が与えられてから、数週間、数か月、そして数年が過ぎました。ジョンはがんから奇跡的に回復し、大学を終え、高収入の職業に就くことができました。ジョンとヘザーは引き続ききずなを強め合い、喜びの多い結婚生活を送りました。

それからしばらくして、ジョンとヘザーから手紙が来ました。がんが再発したそうです。化学療法が再開され、手術の予定が組まれました。ジョンはこう説明しています。「この知らせにヘザーとわたしは落胆したばかりか、混乱してしまいました。最初の試練で何か学び損ねたことがあったのだろうか。それとも主はわたしたちにもっと何か期待しておられるのだろうか。」

そこで、はっきりさせるために祈り始めました。そして、が

**どんなに強い信仰があっても、
多くの山は動かないでしょう。
それに、病気の人や
体の弱い人が
全員癒やされるわけでは
ありません。**

んがどうして再発したのか理解できるよう、主に尋ねました。そしてある日、新約聖書を読んでいるときに答えを受けたのです。読んでいたのは、キリストと使徒たちが海上におられたときに暴風が起きた場面でした。船が転覆しそうになったのを恐れて、弟子たちは救い主のところへ行き尋ねました。『先生、わたしどもがおぼれ死んでも、おかまいにならないのですか。』まさにこの気持ちです。わたしががんになっても、おかまいにならないのですか。子供を産み育てたいのに、おかまいにならないのですか。しかし、その話を読み進んでいくうちに答えが見つかりました。主は弟子たちを見てこうおっしゃいました。『信仰の薄い者たちよ。』それから主は手を伸ばし、海を静められました。

その瞬間、こう自問せざるを得ませんでした。『わたしはこの出来事を本当に信じているだろうか。その日主が海を静められたことを本当に信じているだろうか。それとも、読めばためになる程度のことだろうか。』その答えは、確かに信じているというものでした。主が海を静められたことを知っているのだから、わたしを癒やして下さることが瞬時に分かりました。そのときまでわたしは、変わることをない主の御心に、キリストを信じる自分の信仰を合わせようと必死に努めていました。主が癒やして下さるといふ信仰を持つことと主に信頼を置くこととは関連がないように思え、時には互いに相反するのように感じることがありました。『最終的に主の御心が実現するのであれば、なぜ自分には信仰が必要なのですか』と尋ねました。この経験の後、少なくとも自分の場合、信仰を持つということは必ずしも主が癒やして下さるかどうかを知るのではなく、主はわたしを癒やす力を持っておられると知ることなのだ分かりました。主はその力をお持ちであり、それが起こるかどうかは主にお任せする以外になかったのです。

それら二つの考えがわたしの中で共存するようになり、イエス・キリストへの信仰を強めることと、主の御心に完全に従うことに焦点を当てるようになると、これまで以上に大きな慰めと平安が訪れました。生活の至る所に主の御手があることを見るのは、すばらしいことです。物事が落ち着くべきところに落ち着き、奇跡が起き、神の計画が展開していく

のを見るたびに、いつもへりくだる思いがします。』

山を動かそうとするならば、正義と信仰は確かに必要です。ただし、その場合、山を動かすことが神の目的を成就することであって、御心にならなければなりません。病の人や、耳の聞こえない人、足の不自由な人を癒やそうとするときも同様で、正義と信仰はその手段です。ただし、その癒やしが神の目的を成就するものであり、御心にならなければなりません。したがって、どんなに強い信仰があっても、多くの山は動かないでしょう。それに、病気の人や体の弱い人が全員癒やされるわけではありません。あらゆる反対勢力が消滅したり、弊害が全て取り去られたりするとしたら、御父の計画の第一の目的は果たされません。

現世でわたしたちが学ぶべき教訓の多くは、経験したり、時には苦しんだりすることによってしか学ぶことができません。そして神は、わたしたちが神の助けを借りて一時的な現世の困難に立ち向かうことを望み、わたしたちにはそれができると考えておられます。そうしてわたしたちは学ぶべきことを身につけ、最終的には来世で、なるべき姿になるのです。

**神は、わたしたちが
神の助けを借りて
一時的な現世の困難に
立ち向かうことを期待し、
わたしたちにはそれが
できると考えておられます。
そうしてわたしたちは
学ぶべきことを身につけ、
最終的には来世で、
なるべき姿になるのです。**

全てのこの意味

ジョンとヘザーのこの話は、平凡であると同時に、きわめて類いまれな話です。この若い夫婦は、世界中の何百万人もの、忠実で聖約を守る末日聖徒を代表しています。こういった人々はキリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ちながら、細くて狭い道に沿って歩みを進めています(2ニーファイ 31:19 - 20 参照)。ジョンとヘザーは教会で非常に目立つ指導的な立場で奉仕していたわけではありませんし、親族に中央幹部がいるわけでもありませんでした。疑問や恐れを抱くこともあったことでしょう。こういった多くの点から見れば、これはまったくどこにでもある話と言えます。

しかし、この若い男女は類いまれな方法で祝福を受け、心身の苦痛と困難を通して永遠にわたる最も重要な教訓を学んだのです。この話を紹介した理由は、皆さんの多くと何ら変わるところのないジョンとヘザーが、身を引かないことは生き延びることよりも重要だということを理解することができたからです。つまり彼らの体験談は、そもそも生きるか死ぬかの問題ではなく、学び、生き、ふさわしくなるという話です。



多くの皆さんにとって、この夫婦の話は現在経験している話かもしれませんし、経験したことのある話かもしれません。または、これから経験することになる話かもしれません。皆さんは、ジョンやヘザーと変わらぬ勇気と霊的な視点をもって、人生で同様の試練を現在経験しているかもしれませんし、過去に経験したかもしれません。また、将来経験することになるのかもしれません。試練や苦痛を通して永遠の教訓を学ぶ人がいる一方で、救いや癒やしを通して同様の教訓を学ぶ人がいます。その理由は、わたしには分かりません。わたしには全ての理由や目的が分かるわけではありませんし、主がいつそれを成就なさるのかを全て知っているわけでもありません。ニーファイと同様、皆さんもわたしも「すべてのことの意味を知っているわけではありません」となら言うことができます（1ニーファイ11：17）。

しかし、間違いなく知っていることが幾つかあります。わたしたちは愛に満ちた天の御父の霊の息子、娘です。永遠の御父は幸福の

計画を作られました。イエス・キリストはわたしたちの救い主であり、贖い主です。イエスは御自身の無限で永遠の贖罪を通して、御父の計画を可能にしてくださいました。主は「寂しき丘に世を去れど」²「御自分の民を彼らの弱さに応じて」救い、強めることができます（アルマ7：12）。そして、現世の最も偉大な祝福の一つは、身を引かないでいられること、そしてわたしたち一人一人の思いが「御父の御心にのみ込まれて」もよいと考えられるようになることです（モーサヤ15：7）。

このような祝福がどのようにして、いつ、どこで、なぜ起こるのかが全て分かるわけではありませんが、実際に起こることは知っています。皆さんが人生においてキリストに確固たる信仰をもって歩みを進めるとき、身を引かないでいることができるようになって知っています。■

2013年3月3日、テキサス大学アーリントン校で行われた教会教育システムディボーションで話された「……身を引くこと〔のないように〕」と題する説教から。

注

1. ニール・A・マックスウェル「キリストの贖いの血の効力を及ぼす」『聖徒の道』1998年1月号、26参照
2. 「ナザレ出しわが主よ」『賛美歌』100番

世でわたしたちが
学ぶべき教訓の多くは、
経験したり、
時には苦しんだり
することによってしか
学ぶことができません。



中央日曜学校会長会
第二顧問
ブライアン・K・
アシュトン

青少年が 教える のを助ける

青少年は教える機会が必要です。主は祭司の義務を列挙し、このことを明らかにされました。

「祭司の義務は、説き、教え、説き明かし、勧め、バプテスマを施し、聖餐^{せいさん}を執行することであ[る。]」（教義と聖約 20：46、強調付加）

その数節後で主は、教師や執事にも、教え、説き明かしをする責任をお授けになりました（教義と聖約 20：58 - 59 参照）。実際、全ての若い男性と若い女性は、ときどき教える機会が必要です。

青少年が他の青少年を教える利点

イエス・キリストは完全な教師でした。青少年は、教える経験によって、救い主の模範に従い、もっと救い主のようになります。教えることは、青少年が宣教師や親、または教会の指導者になるための備えにもなります。青少年は、教えるときには、福音を研究し、福音に従って生活しなければなりません。また、教えるためには御霊^{みたま}を受けなければなりません（教義と聖約 42：14 参照）。結果として、教師を務める青少年は、普通、クラスの生徒よりも学び、レッスンのテーマに対するさらに強い証^{あかし}を得るようになります。

さらに、教える青少年は自信を深め、教える技術を学び、また自分が何を知らないかをはっきりと認識するようになります。また教師となる機会を得た青少年は、もっと良い生徒になろう、もっと良いクラスの一員になろうとします。

さらに良いことは、教えられる側の青少年も祝福を受けるということです。自分たちの仲間が教えるとき、もっとよく耳を傾け、参加も積極的になる傾向があります。青少年が御霊とともにあって福音のテーマについて話し合うとき、友情が強められます。そして、共通の問題を解決するために

助け合うことがさらに上手にできるようになることがよくあります。

成人指導者は青少年が成功するためにどのように助けることができるでしょうか

青少年が教えるとき、成人指導者は、ふさわしい態度と霊的な雰囲気を保つことにおいて責任があります。

成人指導者は、青少年に教師を務めるよう依頼するとき、御霊に従います。¹ 教える準備ができていない青少年もいるので、彼らを困惑させないように注意しなければなりません。あるいは、レッスンの一部しか教える準備ができていない青少年がいるかもしれませんし、レッスン全体を教えられる青少年がいるかもしれません。ほとんどのレッスンにおいて青少年は少なくとも何か一つ役割を果たすべきですが、青少年がレッスンを毎回教えるべきではありません。クラスが小さい場合、青少年が教える責任をあまりにも頻繁に受けないように指導者が留意します。幾つかのレッスン、特に難しいテーマに関するレッスンは、成人指導者が教えるべきです。青少年は、成人指導者が原則を正しく教える手本を見る必要があります。

成人指導者や親は、青少年がレッスンを準備するのを助けるとき、一対一で行うとよいでしょう。この手助けには、青少年が少なくとも1週間前にはレッスン全体を読むように勧めたり、² 天の御父がどんなことを教えるように望んでおられるのかが分かるよう祈ることを提案したり、レッスンプランを作成したり、予行練習を一緒に行ったりすることなどが挙げられます。準備の過程で青少年が啓示を受けたら、指導者は彼らがそのことを認識できるように助けるとよいでしょう。



青少年には
教える機会が必要です。
多少の手助けがあれば、
彼らは上手に
教えることができます。

わたしたちは一緒にレッスンプランを作成しました。ジェイコブはレッスンの前半を受け持ち、短いビデオを上映し、テーマに関する聖句を分かち合い、よく考えた質問をしました。ジェイコブはさらに、クラスの生徒がどんなことを感じているか質問し、聖霊を認識できる

成人指導者は、教師を務める青少年が話し合いを促す質問を考え、聖霊の導きを受け、生徒が自分で真理を発見するように助けることができます。指導者はまた、質問した後でクラスの生徒に啓示を受ける時間を与えるため、しばらく静かにしているよう助けることもできます。

レッスンの間、成人指導者は個人的な経験や証を分かち合い、青少年が困難な問題に直面するときに独りではないことを理解し、克服したいという希望が持てるように助けることもできます。青少年には、成人指導者の知恵と経験が必要です。指導者はまた、必要なときに教義を明確に説明する必要があります。

教師を務める青少年が困難を感じながら教えているとしても、成人指導者が代わってレッスンをすることは避けます。しかしながら、指導者はレッスン資料を事前に研究し、どのようにしたら教師を務める青少年を最もよく助けられるか祈ることによって、支援する備えができます。

青少年は教えることができます。しかも上手に教えることができます。

最近わたしは、ワードの12歳と13歳の日曜学校のクラスを代わりに教えるよう依頼を受けました。わたしは13歳の息子ジェイコブに、教えるのを助けてくれるように頼みました。

るように助けました。

レッスンの後半では、わたしは最初の示現についてクラスの生徒が互いに教え合うようにしました。それから、最初の示現について家庭の夕べで家族に教えるように勧めました。レッスンの後、親にメールを送り、子供たちに勧めたことを知らせました。

ジェイコブにレッスンについてどのように感じたか質問すると、こう答えました。「すごく良かったよ。御霊があったことが分かったよ。だって、最初、クラスの友達がぼくたちの質問に答えることなんてできないと思っていたけれど、ちゃんと答えたからね。」

青少年には教える機会が必要です。そして皆さんは彼らが上手に教えられるように助けることができます。そうすることにより、彼らの証は成長し、宣教師や親、または教会の指導者となるためにさらに良い準備ができることでしょう。さらに大切なことは、彼らが救い主にもっと似た者となるということです。■

教え方の改善に関するさらなるアイデアについては、teaching.lds.org で新しい手引き『救い主の方法で教える』をご覧ください。

注

1. アロン神権定員会の会長は成人指導者と相談し、次回のレッスンでどの青少年が教えるのか決める（『手引き 第2部——教会の管理運営』8.3.2参照）。
2. 啓示は「教えに教え、訓戒に訓戒」を加えて与えられるので、少なくとも1週間前からレッスンを読むことは、啓示を受ける時間を教師に与える。

女性であること

永遠の観点から 考える

わたしが
女性として、
豊かで気高く
非常に
すばらしい人生を
送っているのは、
イエス・キリストの
福音のおかげで
あることを、
わたし自身の
経験から
はっきり
申し上げたいと
思います。

LDS 慈善事業団ディレクター
シャロン・ユーバンク

何年も前、友人と彼女の夫がガーナの田舎で指導者訓練を行っていたときのことで。集会後、一人の女性がやって来て、感極まった様子で「この教会は女性の教会です」と言いました。友人はその女性に、どういう意味かと尋ねました。彼女の話の要点は次のようなものでした。「教会には、霊的なこととふだんの生活について教えるすばらしい扶助協会があって、家族とわたしたちにとって祝福です。そして今この同じ時間に、あなたのご主人は隣の部屋でわたしたちの夫に、妻と子供には優しさと思いやりをもって接するように教えています。わたしたちには神殿があります。ですから、亡くなったわたしの子供たちも永遠にわたしの子供です。わたしの欲しいものは全てこの教会にあります。これは女性の教会です。」

この教会は女性の教会でしょうか。幾つか興味深い例外はありますが、わたしは個人的な経験から大いに力を得てきました。そこで、この質問に答えることはせず、ただ、わたしが世界を巡って見てきたことをお話ししましょう。わたしは学者でも研究者でもなく、教会の広報担当者でもありません。しかし、わたしが女性として、豊かで気高く非常にすばらしい人生を送っているのは、福音と末日聖徒イエス・キリスト教会のおかげであることを、わたし自身の経験からはっきり申し上げたいと思います。

家族、教会、地域社会、国家、神殿における女性の役割に関する教義、——また男女が協調関係を築き、交わることに——教会の教義は、決して制約的でも保守的でもなく、わたしがこれまで聞いた中で最も調和が取れていて、力強く、人を啓発し、活力をもたらす教義です。ですから、姉妹たちに申し上げます。皆さんが女性として、クリスチャンとして、知性ある人として、また永遠に存在する人として熱心に求めるものは、ここ、イエス・キリストの教義の中にあり、教会でその教義を実践することにより得られます。





「終わりの時に
教会に大きな発展が
もたらされようと
していますが、
その多くは、
世界中にいる善良な
女性たち……が
大勢教会に
引き寄せられることが
理由となって
起きるでしょう。」

スペンサー・W・
キンボール大管長



神の教義は男性と女性に等しく 責任を課している

イエス・キリストの福音は男女のどちらにも当てはまり、神の教義は両者に等しく責任を課しています。二重基準はないのです。性別を問わず、神はポルノグラフィ、不貞、虐待、育児放棄、不平等、抑圧を容認しておられません。

またこの教義は、人はどこから来て、なぜここにいるのか、そしてどこへ行くのかに関する知識を与えます。男性と女性の性別について、また娘と息子、姉妹と兄弟、妻と夫、母親と父親としての役割について教えます。¹

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は次のように教えています。「預言者たちは、わたしたちが初めは英知として存在していたこと、また、神から形、すなわち霊の体を与えられ、神の霊の子供、つまり天の両親の息子、娘となったことを明らかにしています。」² 英知は常に存在していました（教義と聖約 93：29 参照）。

わたしは女性です。性別にはそれぞれ特定の特質と責任があります。

わたしは娘です。この娘としての役割は、自分が神との関係において何者であるかを明らかにします。天の両親がおられ、わたしは娘として天の御父と祈りを通して交流し、聖霊を通して啓示を受ける権利を有しています。³

わたしは姉妹です。姉妹の役割があるとは、クリスチャン、この教会の会員、福音における姉妹、弟子であることを意味し、また犠牲を払い、奉獻し、仕え、導くという聖約を交わしていることを意味します。

また、この世において妻になる機会もあるでしょう。もしこの世でその機会がなくても、次の世では必ずあります。この役割は、選ばれた対等の伴侶である夫との関係においてどのような存在であるかを示して

います。わたしたちは同じではありません。わたし、あるいは夫がそれぞれ持っているのと同じ賜物と特質の組み合わせを備えている人は誰もいないからです。しかし、それぞれの特徴を補い合っ一つとなろうとしています。結び固めという言葉は、神殿で神権の権能によって執り行われる結婚には、永遠に一つとなる可能性があることを表すすばらしい表現です。

母親という役割は、子孫との関係においてどのような存在であるかを示しています。実際にこの役割を地上での短い期間内で得るのか、次の世で得るのかにかかわらず、永遠の家族になるという約束が、神殿で約束の聖なる御霊によって結び固められる結婚をする人たちに与えられます（教義と聖約 132：19 参照）。

教会の教義は地上で唯一無二のものであり、イエス・キリストの福音の回復の一部です。この教義を理解し、信じるとはどういう意味なのか考えてみてください。わたしにとって、この教義は、全ての行動を永遠の視野で見られるようにしてくれるものです。

教会は神の教義を実践する場所である

教会員であるということは、これまで計画された中でも屈指の成長プログラムに参加していることだと思っています。女性個人の成長、力をつけて生活を整えること、指導力をつけるなどの幅広い能力は、教会員の誰もがやっていることをすることで得ることができます。それには次のようなものがあります。指導者となる、人前で話す、決断する、相手を説得できるように話す、予算を立てる、人に影響を与える、地域社会で奉仕する、読み書きができる、研究する、レッスンなどで使う資料を作成する、庭仕事、食糧貯蔵、家族の健康維持に努めるなど、枚挙にいとまがありません。

教義と、教義の実践の間にずれがある



場合に、女性の役割について誤解が生じるとわたしは考えています。しかし、預言者にもわたしたちにも聖霊を通して絶え間なく与えられる神の啓示を通して、誤解が表面に現れてもほとんどの場合、わたしたちはその誤解に気づき、取り除き続けることができます。

例えば、使徒と預言者は、わたしたちが常に信じてきた概念を明確にし続けます。

- 十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老はこう言っています。「男性と女性は神殿に参入するとき、彼らはともに同じ力を授けられます。その力は、神権の力と定義されます。」⁴
- 十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老も次のように述べています。「ふだんわたしたちは、教会の召しにおいて女性が神権の権能を持っていることについて話すことはありません。しかし、神権以外にどんな権能があるのでしょうか。」⁵
- 大管長会第二顧問であったジェームズ・E・ファウスト管長（1920 - 2007 年）はこう説明しています。「全ての父親は自分の家族にとって族長であり、全ての母親もその親としての固有の役割の中で同等の責任を負う女族長です。」⁶

1. 全体像を念頭に置く

わたしたちが教義を実践するときに助けとなる提案を3つ挙げましょう。第1に、イエス・キリストの教義が教える全体像を常に念頭に置くことです。

しばらく前、LDS 慈善事業団のディレクターとしてある会合に出席していたときのことで、「イスラム国」によってイラクのモスルから追放され、クルディスタンに殺到するキリスト教徒難民に対する緊急援助の要請を受けました。バグダッドの英国国教会の敷地には居場所を求めて5,000人が

詰めかけているのですが、食料がありません。末日聖徒の人道支援宣教師の夫婦は、米や豆、油、毛布を購入する資金を至急用意するよう訴えていました。その晩の食事ができるよう、わたしたちはその要請にすぐさま対応しました。

職務上、わたしは毎日こうした事態に直面しています。いやが応でも全体像を見ることが頻繁にあり、どうすれば一番効果的に自分の力を使えるだろうかと、自分に問いかけています。答えを求めるために、福音の教義を調べてみましょう。「的のかなたに目を向け」たり（モルモン書ヤコブ4:14）、ある疑問や行為に執着すると、福音に沿った生活から焦点や時間の使い方がずれてしまうことがよくあります。

中央若い女性会長のボニー・L・オスカーソン姉妹は、答えを求めるためには福音にしっかりつながっていることが大切であると述べています。「過去に感じたことに確信を持ち続けるかどうかを選ぶことができます。全てに答えがあるわけではありません。しかし、わたしたちは聖霊から受けた気持ちに忠実であるかどうかを選ぶのです。物事がもっと好転するように努力を続けましょう。そして、今は信仰を持ち続けましょう。」⁷

わたしたちが教会の教えをもっとよく、そしてもっと完全に実践できるようになるとともに、教会での行動も常に変化していきます。わたしの願いは、次の世代の人々が、さらに公平、平等に福音を実践できるようになることです。しかし同時に、土台となる大きな石は既に置かれており、わたしたちの信仰と証を養うのに十分であると信じています。

2. 逆境にあっても忠実であり続ける

逆境は必ずしも悪いものではありません。わたしは、逆境もわたしたちを強めると信じています。以前、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマリノでハンテントン植物園に行ったとき、展示室に何台か巨大な扇風機が置いてあることに気づきました。常に吹き付ける貿易風を摸して、いつか起こるかもしれないハリケーンに耐えられるよう、南洋の樹木を強めるために風を送っていたのです。主は、わたしたちが根を強く張り、もっとしなやかになるように、問題や妨害という形で日々「貿易風」を送られ、あるいは吹くことを容認されます。実はこうした試練は贈り物なのです。

次に紹介する教会歴史の二つのエピソードから、逆境をどのように捉えたらよいか分かります。

最初のエピソードは、1847年にソルトレーク盆地に到着

男性あるいは女性が
不義な支配を
行い始め、
柔和、愛、
純粋さをもって
指導しないと
すぐに、
聖霊は退き去る。

教義と聖約 121:37 参照



したブリガム・ヤングの話です。ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）はこう述べています。「鋤すきを使ってさえ地を耕せませんでした。〔ブリガム・ヤング〕は、そこが肥沃な土地かどうか、季節がどうか、天候はどうか、何も知りませんでした。霜が降りることも、冬の厳しさも、虫の害がある可能性も、何も知りませんでした。〔初期の探検家〕ジム・ブリッジャーやマイルズ・グッドイヤーは、この土地について肯定的なことは一言も告げませんでした。サム・ブラナンは、カリフォルニアまで旅を続けようと懇願しましたが、ヤング大管長は誰の言葉にも耳を傾けませんでした。大管長は、この暑く、ひどく絶望的に見えたであろう場所まで人々を導き、到着すると、西側にある塩の湖にまで広がる広大な土地を見渡して言いました。『まさにこの地です。』⁸

二つ目のエピソードは、ウィルフォード・ウッドラフが記憶していた預言者ジョセフ・スミスの言葉です。回復が始まって間もなく、預言者は集まった少数の指導者に、将来非常に多くの教義を知るようになることについて語りました。「わたしは皆さんの証に大変教化され、教えられました。しかし主の御前で皆さんに申し上げたい。皆さんはこの教会と王国の行く末について、母親のひざにいる幼子ほどしか知っていません。皆さんはまだ理解していません。」⁹

この二つのエピソードを紹介するのは、これがわたしの気持ちを伝えるものだからです。正しい場所においても、あるいは正しい教義があっても、それは目をくらます塩の平原や黒イナゴの大群、作物を枯らす霜がなく、反対論者がいないという意味ではありません。しかし、それでも正しい場所で



あり、正しい教義なのです。そして、わたしたちは進み続けなければなりません。主が男性と女性によって、また神権によって何をしておられるかについて、わたしたちは母親の膝にいる幼子ほどにしか理解していません。しかし主は、わたしたちの能力に応じ、成長の度合いに応じ、また求めに応じて、喜んで教えてください。そして、わたしたちは理解を深め、オスカーソン姉妹が言ったように行うことができます。「今は信仰を続けましょう。」

3. 聖霊を求める

質問することと答えを見つけることは、神の教義に対する証を得る要です。何かが真実であるとき、聖霊は、穏やかで温かい気持ちを通してそれを証してくださいます。中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は、このことについて語っています。「答えが欲しいなら、正しい答えを与えてくれる所に行きましょう。インターネットなら信じて、なぜ預言者を信じないのでしょか。連携を深め、思いを正直に伝えるよう質問するにはどうすればよいかを知ることができます。……でも、忍耐強く、謙虚であってください。」¹⁰

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、サタンの影響と神からの答えの違いを教えてください。「わたしたちの耳元



で巧みにささやく〔うそをつく〕者は誰でしょうか。……皆さんもわたしもその張本人を知っています。それはあらゆる偽りの父です。わたしたち共通の敵ルシフェルです。』¹¹

この神権時代において啓示を受ける経験が誰より多かった預言者ジョセフ・スミスは、質問するときには一致し尊敬するという固い決意が必要であることを教えようとしてきました。そうすることで聖霊を招くことができ

ます。1839年、ジョセフはリバティーの監獄から出した手紙にこう書いています。「神権の権利は天の力と不可分のものとして結びついており、神権におけるその力は「説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により」維持されなければなりません（教義と聖約 121:36, 41）。預言者は扶助協会にも同じ原則を教えました。「〔わたしたちを〕大いなる者とするのは、柔和と愛と純粋さです。』¹²

ジョセフ・スミスは温厚と柔和について、聖霊を感じ、義の影響力を行使する手段であると語っています。ジョセフはこれを男性と女性の両方に言いました。それは、この教えが結婚においても教会においても、同等の存在である両者に影響することだからです。男性あるいは女性が不義な支配を行い始め（教義と聖約 121:37 参照）、柔和、愛、純粋さをもって指導しなくなるとすぐに（聖霊が退き去るので）、全ての権能と神の承認は無効となります。

女性が切望するものは教会の教義の中にある

世の多くの女性が自分の価値を認められたい、活力を使う目的を見つけたい、また、家庭を築いて誠実でありたいと望む男性を見つけたいと切に望んでいます。

昔、フィンランドを列車で旅行中に、イギリス人ガンサーと出会いました。わたしたちは二人とも、英語で話ができることがうれしく、話しながら互いにいろいろ尋ねました。例えば、フィンランドで何をしているのか、どのようなことを信じているか、などです。わたしの信仰を知って、その人が聞きました。「タバコも吸わないし、お酒も飲まないんですか。婚前交渉もいけないと信じているんですね。」話をしている間中、興味を覚えた彼女は、何度もこの話題に話を戻しました。「同じように考える人とデートしなければ、うまくいか



ないでしょうね」と彼女は言いました。その後で、「同じ考えの男性なんて、いるんですか」とも言いました。初めは軽蔑的だったその人も、最後には物思いに沈んだ表情になっていました。わたしから聞いた教会の教義の中に、その人が強く望んでいるものがあつたのです。

この列車での出会いはずっと記憶に残り、何度もスペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）の有名な言葉を思い出しました。「終わりの時に教会に大きな発展がもたらされようとしていますが、その多くは、世界中にいる善良な女性たち……が大勢教会に引き寄せられることが理由となって起きるでしょう。これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちがどの程度まで義を反映した生活を送り、自分をしっかりと表現できるか、またその幸せな様子から、どの程度まで世の中の女性と区別され、異なって見られるかで決まるでしょう。』¹³

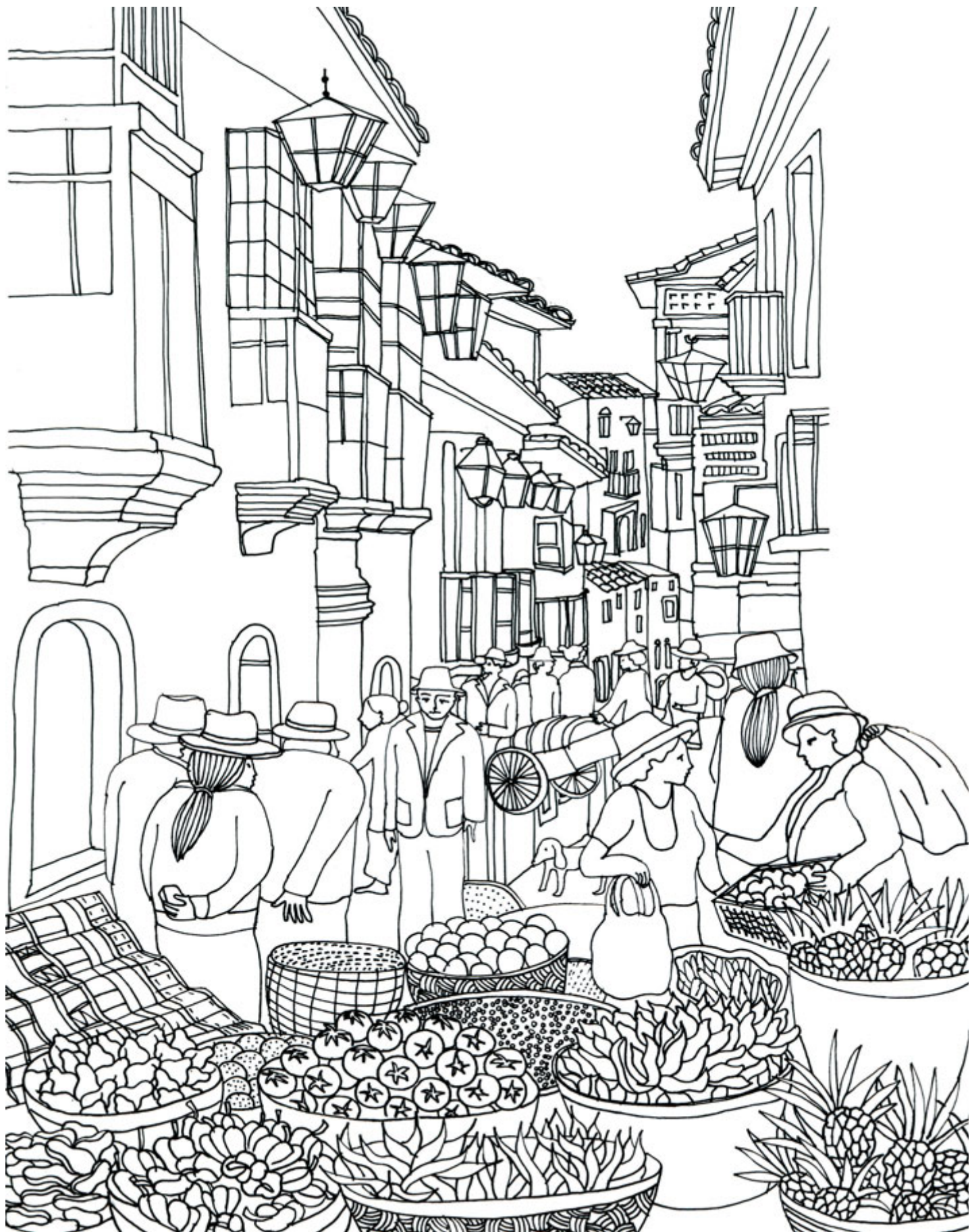
女性の本質と役割に関する教義は、わたしの心の最も強い望みが具体的に表現されています。現世に生きる教会員の、神の教義に従った生活は完璧ではありません。しかし、教義に従おうとし、希望に満ち善意をもって生活しています。わたしたちは、神が「この後も、神の王国に関する多くの偉大で重要なことを啓示される」と信じています（信仰箇条 1:9）。わたしたちはこの教義を信じる選択をすることができます。

そこで、もう一度お尋ねします。この教会は女性の教会ですか。世界を巡ってわたし自身が経験したことに基づいた答えは、ただ「はい」です。■

2014年8月8日、アメリカ合衆国ユタ州プロボで開催されたフェアモルモン・カンファレンスでの話から

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129 参照
2. D・トッド・クリストファーソン「なぜ結婚、なぜ家族か」『リアホナ』2015年5月号、50
3. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129 参照
4. M・ラッセル・バラード「男性と女性と神権の力」『リアホナ』2014年9月号、36 参照
5. ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号、51 参照
6. ジェームズ・E・ファウスト「預言者の声」『聖徒の道』1996年7月号、6
7. ボニー・L・オスカーソン、筆者との私的な会話より、2014年7月21日
8. ゴードン・B・ヒンクレー、ジェームズ・E・ファウスト「Brigham Young: A Bold Prophet」（2001年8月21日、教育週間での説教）、1で引用、speeches.byu.edu
9. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』137
10. リンダ・K・パートン、筆者との私的な会話から、2014年7月21日
11. ジェフリー・R・ホランド「もう一人の放蕩息子」『リアホナ』2002年7月号、70
12. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』482 参照
13. 『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』223 - 224 参照





ジョン・R・
クック長老

1975年から2007年まで
中央幹部七十人として奉仕

なくなつた

聖典

わたしたちが神と御子を信じる信仰を働かせるとき、
神は確かにわたしたちの祈りを聞き、こたえてくださいます。

1977年7月29日、クック姉妹とわたしは、七十人としての責任でボリビアのサンタクルス伝道部への訪問を終えたばかりで、ボリビアのコチャバンバ空港で5時間の待ち時間を過ごしていました。わたしたちはとても疲れていて、数時間でも休めてうれしいと思っていました。うとうとし始めたとき、目を覚まして頭に浮かぶ考えを書き留めなければならないという強い印象を受けました。

3時間近く書き留め、自分が担当する地域の伝道部について何年も悩んできた組織上の問題への解決策が得られました。御霊が豊かに注がれているのを感じたわたしは、興奮しながら、与えられる靈感や思いを一つ一つ書き留めました。

ようやくボリビアのラパスに向かって出発しました。空港ではチェイス・オールレッド伝道部会長夫妻の温かい歓迎を受け、彼らの車で伝道本部に向かいました。荷物とブリーフケースを車の中に置いたまま車の鍵を閉め、オールレッド姉妹は長老の一人に車を見ていてくれるように頼みました。

本部に入るとき、会長は、夫が死にそうだと訴える女性に呼び止められました。会長とわたしは彼女をなだめ、必要とする助けを与えました。その間、クック姉妹とオールレッド姉妹は伝道本部に向かいました。

伝道部会長とわたしが車に戻ったとき、わたしたちの荷物は全てなくなっていました。わたしは、クック姉妹が伝道本部に持って行ったのだと思いました。しかし、本部に向かって車を走らせているとき、車の前の右の小窓が割られているのを見つけ、荷物が盗まれたのではないかと心配になりました。

伝道本部に到着したわたしたちは、全ての荷物がやはり盗まれたことに気づきました。衣服が盗まれたのは当面困りましたが、一時的な問題でした。何よりもがっかりしたのは、わたしの聖典と、コチャパンバで受けたばかりの靈感を記したメモが、盗まれたブリーフケースの中にあったということです。わたしは落胆と怒りとやるせなさで押しつぶされそうになりました。

全員で、荷物が戻って来るように祈った後、夕食を楽しもうとしましたが、できませんでした。わたしの聖典は両親から贈られたものであり、母や父が亡くなる前の神聖な遺言も書かれていたのです。わたしはこれまで何千時間もかけて、印をつけ、参照聖句を書き、わたしにとってこの世の持ち物の中で本当に価値がある唯一の宝物として、いとのおしみ、大切にしてきました。

オールレッド会長とわたしは話し合うべきことが山ほどありましたが、聖典を取り戻すために力の限りあらゆることをしなければならないという強い思いを感じました。そこで夕飯の後、そこにいた全員でもう一度ひざまずいて祈りました。わたしたちは、聖典が戻るように、それらを取った人々が自分の誤った行いを知って悔い改めに導かれるように、そして聖典が戻ることによって誰かが教会に導かれるきっかけとなるようにと主に願い求めました。

どろぼうが売れそうな物だけ取った後、英語の本を捨てたのではないかと期待を込めて、伝道本部の近隣地域や近くの野原を捜そうと決めました。

わたしたち約10人は、懐中電灯を持ち、暖かい服装をして車に乗り込みました。あちこち車で回り、空き地を見たり、人々に話しかけたりして、あらゆる可能性を試しました。誰も何も見ておらず、聞いてもいませんでした。ついにわたしたちは落胆して家に戻りました。オールレッド会長とわたしは夜遅くまで仕事をし、翌日クック姉妹とわたしは飛行機に乗り、エクアドルのキトにある我が家に戻りました。

その後数週間にわたって、ボリビアの宣教師たちは捜し

続けてくれました。絶望的な状況の中、彼らは2社の日刊紙に報奨金をつけて広告を出してみることにしました。

その間、キトにいたわたしは苦悩していました。自分の聖典が盗まれた後、聖文研究をしていなかったのです。研究しようとして聖句を読むのですが、20年かけて記してきた参照聖句のほんの数個しか思い出すことができませんでした。わたしは気落ちし、気がめいって、読みたい気持ちもうせてしまいました。聖典が見つかるように何度も祈りました。妻と子供たちは3週間の間毎日、「天のお父様、お父さんの聖典を返してください」と祈り続けてくれました。

約3週間後、わたしは強い霊的な印象を受けたのです。「クック長老、いつまで聖文を読むことも研究することもせずにいるつもりですか。」その言葉が胸の中で燃え、わたしは十分へりくだり、従順になって、もう一度やり直さなければならぬと決心しました。妻の聖典を使って、旧約聖書の創世記を読み始め、彼女に許可をもらって、再び印を付け、参照聖句を書き込み始めました。

8月18日、教会職員であるエブ・デイス兄弟がラパス伝道部の伝道部会長から預かった荷物を持ってボリビアからエクアドルに到着しました。彼はわたしの聖典と、わたしが霊的な印象を書き留めたメモとを、わたしの机の上に置きました。

そのときわたしが感じた喜びは、表現することができません。主が奇跡的な方法で、人口70万人から80万人の都市、ラパスからそれらの本を見つけ出し、1ページも破られたり、汚されたりすることなくどろぼうの手から取り戻してくださいだったということは、わたしの理解をはるかに超えています。その日わたしは主に対して、これまで以上に自分の時間と聖典を有効に使うことを約束しました。

数日後、ボリビアに戻って分かったことですが、ある女性がラパスに何百とある市場の一つに行ったとき、ある酔っぱらった男性が黒い本を振り回しているのを見たそうです。彼女はプロテスタント教会の会員で、何か神聖な物が汚されているという強い霊的な印象を受けました。彼女はその男性に近づくと、それは何かと尋ねました。彼は知らないと答えながら、それを彼女に見せてくれました。他に何か持っていないかと尋ねると、もう1冊の黒い本を取り出しました。もっと他にはないかと尋ねると紙がたくさんはさんであるホルダーを取り出してきて、燃やすつもりだと言いました。



女性はそれを全部買いたいと言い、男性も同意し、50 ペソ（約 300 円）で買い取ることができました。

後になって、彼女はなぜ自分が本を買ったのか不思議に思いました。英語で書かれていましたが、彼女はまったく英語が読めなかったのです。それに、払った金額はとて高く、彼女の月の収入の 10 パーセントに当たりました。彼女が感じた霊的な促し以外、その本を買う理由はまったくありませんでした。彼女はすぐに本の表紙についている末日聖徒イエス・キリスト教会という名前の教会を探し始めました。

教会を幾つも回った後、ようやくラパスの伝道本部に到着しました。彼女は報奨金については何も聞いておらず、その日に掲載されるはずの広告も見えていませんでした。彼女はお金はいらないと言い、自分が支払った 50 ペソさえも請求しませんでした。長老たちは喜んで本を受け取り、報奨金はやはり支払わせてもらいました。

彼女は宣教師に、ペンテコステ派と関わりがあると言いながらも、宣教師が福音について語るのを熱心に聞きました。

数年前に道で拾ったパンフレットにジョセフ・スミスについて書いてあるのを読んだことがあったのを思い出しました。彼女は宣教師のレッスンを受け入れ、2 回目のレッスンのときにバプテスマを受けることを決心しました。2 週間後の 1977 年 9 月 11 日、日曜日の午後、ボリビアのラパスのある支部で、マリア・クローフェ・カルデナス・テラザスと 12 歳の息子、マルコ・フェルナンド・ミランダ・カルデナスがバプテスマを受けました。

主は、聖典がなくなったときにわたしが感じた、とてつもなくやるせない気持ちを、主の手が示されるのを見ることによる大きな喜びに変えてくださいました。主は言われました。「そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかなえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう。」(マルコ 11:24)

わたしたちが、神と、御子であり主であられるイエス・キリストを信じる信仰を働かせるなら、神はわたしたちの祈りを聞き、こたえてくださいます。■

自立はさまざまな形を取ります。主の助けにより、わたしたちは肉体、精神、霊を養い、他の人が同じようにできるよう助けます。次の6つの話は、会員がもっと自立することによってどのように祝福を受けたかを紹介しています。

緊急時の備え——地震とデミジョン瓶

わたしが生後9か月のとき、若い夫婦だった両親には3人の子供がいて、母は4人目を妊娠していました。そんなある日、アルゼンチンでマグニチュード7.5の地震が発生しました。家が崩れ始め、父と母はわたしたちを抱えて逃げました。全員の無事を確認した後、両親は被害状況を確認して回りました。父が急いで被害や損害を確認したところ、公共の水道から清潔な飲み水を得ることができないことが分かりました。崩壊する住宅から舞うほこりを洗い流す水さえありませんでした。

揺れが収まった後、父は自転車に

乗って、すぐ近所に住む自分の母親の安否を確認しに行きました。倒壊した実家に到着した後、裏側へ回ると、祖母はわずかなかすり傷を負った状態で座っていました。

祖母はがれきの中からある物を取り出してほしいと頼みました。父が探していると、きれいな飲み水が入った2本のデミジョン瓶(20-60リットルのワインを入れて販売するためのガラス容器)を見つけました。どちらも壊れていませんでした。

地震が起きる数か月前、スペンサー・W・キンボール大管長(1895-1985年)は全世界の聖徒に、食料と

水を蓄えるように勧めました。祖母はまだ改宗したばかりでしたが、預言者の声に従いました。2本のデミジョン瓶があったおかげで、救援物資が届くまでの数日間、わたしたち家族の必要を満たすことができました。

祖母の従順の模範は、わたしの父への証^{あかし}となり、父は後に福音に改宗しました。わたしの家族はその後、神殿で結び固めを受けました。備えなさいという指示に対する祖母の信仰と従順にとっても感謝しています。■

リカルド・ソーサ(アルゼンチン、サンタルチア)

祖母は預言者の言葉に耳を傾け、
2本のデミジョン瓶に

きれいな飲み水を入れておきました。

そのおかげで、救援物資が届くまでの間、

わたしたち家族の必要を

満たすことができました。



肉体の健康——減量と知恵の言葉

60代半ばになったわたしは、動き回るのが大変になってきました。体重が約136キロあったからです。気力も体力も減退し、できるだけ店の出入口に近いところに駐車できるように、障がい者用の駐車許可書までもらっていました。

わたしはとうとう減量を決意しました。教義と聖約第89章を開いて、「ここに書かれていることを本当に理解できるように助けてください」と天の御父に祈りました。時間がたつにつれ、一つ一つの聖句や言葉が新しい意味を持つようになりました。アルコール、お茶、コーヒーを飲んだり、喫煙をしたりはしていませんでしたが、わたしは全体的な意味をきちんと捉えていなかったのです。知恵の言葉が健康に関する標準であることを知っていましたが、一つの生き方であるとは思ってもみませんでした。

そのとき初めて、自分の生活習慣を変えられると本当に思いました。わた

しは50週で23キロ減量するという現実的な目標を立てました。

摂取したカロリーや栄養素を記録しました。自分が食べる全てのものについて健康上の利点を調べました。健康的な食事を取るにつれ、満足感が得られるようになりました。異常に何かを食べたいという気持ちがなくなりました。わたしの肉体が何を必要としているかが分かっているようでした。以前大好きだった、健康に良くない食べ物に魅力を感じなくなりましたし、糖分を取ることもやめました。次第にカロリー計算をやめ、「地中であろうと地上であろうと、実を結ぶものの実」と知恵の言葉に書かれているように、植物性の食べ物を取るようになりました（教義と聖約89:16）。わたしは目標を達成し、それ以上の成果を上げました。ちょうど1年と11か月で体重を半分まで落としたのです。ドレスが12サイズ小さくなりました。この体重を3年間維持しています。

健康を実感しています。空腹時に血糖値が急上昇することもなくなりましたし、頭痛も長い間経験していません。薬を飲む必要もありません。体重が減ったことで全体的な幸福感が高められ、新しい生活習慣にも満足しています。

食べる物を管理するというのは、生まれながらの人を克服することの一部です（モーサヤ3:19参照）。その結果、霊的な判断力が研ぎ澄まされ、「知恵と、知識の大いなる宝、すなわち隠された宝さえ見いだす」という約束を受けることができます（教義と聖約89:19）。知恵を受けるためにファストフードを食べないのは良い取り決めです。

わたしの単純な願いを聞き届け、知恵の言葉に対して深い理解を与えてくださった愛ある天の御父に本当に感謝しています。知恵の言葉は靈感によって与えられ、人生を変える力があることを知っています。■

キャロル・E・ウルフ（アメリカ合衆国、ユタ州）



雇用——たくさんの信仰と少しの家具

妻とわたしが結婚したとき、わたしは失業中でした。家には家具がほとんどありませんでしたが、たくさんの愛と信仰がありました。

やっと仕事が見つかりましたが、日曜日の午後に働かなければなりませんでした。わたしは主の日には働かないと主と約束をしていましたが、家族を養うことも、わたしに与えられた責任です。それでも、主との約束が頭から離れませんでした。

次の日曜日、「楽し安息の日」(『賛美歌』178番)を歌っているときに答えを受けて、安息日の大切さに気がつきました。しかし、勤務スケジュール変更の交渉ができないことが分かり、仕事を辞めました。妻と二人で、主が必要なものを与えてくださると信じ、生活を続けました。家族のために妻が働いて、そのうちに長女のサリアが生まれました。わたし

はその間、永代教育基金を利用して電子工学を学びましたが、それでも仕事が見つかりませんでした。

妻はサリアが生まれて3か月後に復職しましたが、サリアが母親を非常に恋しがったので、わたしたちはどうすべきか祈り、妻は仕事を辞める決意をしました。軽率な判断だと思われるかもしれませんが、わたしたちはそうすべきだと感じたのです。失業保険が適応された4か月の間仕事を探しました。主の時にかなって、一時雇用ですが仕事に就くことができました。

次女のアマンダが生まれたとき、やっと見習い技術者としての仕事が見つかりましたが、生活は苦しいままでした。まだ家具もほとんどなく、安定した仕事もありませんでした。教会が行っている、仕事を得て自立するための支援コースを2度受講しました。収入は

基本的な生活必需品を賄うことさえおぼつかないほど低いものでしたが、全力を尽くしました。

そして見習いの仕事を始めて15か月後に、今の仕事を見つけたのです。今は技術者として、大きなショッピングセンターの電気エネルギー測定部門で働いています。月曜から金曜までの勤務で、この職種としては奇跡ではないかとわたしは思っています。同僚は皆、日曜日や休日に勤務しているのです。今は医療保険にも入って、家具もあります。ここまで来られたのは、主の助けと、永代教育基金があったからです。わたしたちが自分の責任を果たせば、必ず主も御自分の責任を果たしてください、わたしたちはこれからも自立した生活ができることを知っています。■

レニー・サンティアゴ・ドゥアルテ・ナザレーノ
(ブラジル、バイア州サルバドール)

わたしは主の日には働かないと主と約束をしていました。

主がわたしたちを守ってくださると信じ、わたしは仕事を辞めました。



財政——オートミール、パン、そして米と豆

夫の大学院の学費が高かったので、ローン返済のために早く仕事に就きたいと願っていました。仕事の申し出を幾つか受けましたが、ハワイでの大学教員の仕事が最善に思えました。しかし、受け取った契約書に書かれていた給与額は合意した額より低いものでした。給与規定が変わって、交渉する余地はないと知らされました。それでも、その仕事について確信を得ていたので、契約書に署名しました。

わたしたちはハワイが大好きになり、夫も仕事にやりがいを感じ、わたしたち家族は祝福を受けました。学生ローンの返済も順調にいていましたが、クレジットカード会社から、利息をこれまでの3%から14%に引き上げるという連絡が来ました。返済期限を守らなかったことはなく、既に大部分の返済が終わっていることを伝えましたが、会社側は譲りませんでした。

わたしたちはまず、いろいろと知恵を絞って、ローンを短期のゼロ金利のカード会社に移しました。それから節約に努めました。7人家族の生活費から、食費や衣類、おもつにかかる支出を大幅に減らし、食糧貯蔵に頼って生活しました。毎日朝はオートミール、午後は手作りのパン、夜は米と豆を食べました。バターや新鮮な牛乳、ジュースなど、そんなぜいたくはできませんでした。什分の一^{じゅうぶん}を納め、基本的な必需品を買った残りのお金は、全てクレジットカードの返済に充てました。

そして6か月後、何とローンの9割を返済できたのです。主は、わたしたちの収入を奇跡的な方法で増し加えてくださいました。その後、残りの返済をすぐに済ませることができたことを、心から感謝しています。娘は今でも、あの頃毎日オートミールを食べさせられたと文句を言いますが、什分の一を納め、預言者に従うことによって、経済的にも物質的にも祝福されたことをわたしは知っています。■

匿名(アメリカ合衆国、ハワイ州)



学 生ローンの返済も
順調にいていた矢先、
クレジットカード会社から
利息を引き上げるとい
う連絡が来ました。



夫もわたしも大量の食糧貯蔵をしたかったので、毎週何かを余分に買うことにしました。

食糧貯蔵——チーズの缶詰とローンの利息

わたしは結婚を機に、食糧貯蔵を真剣に始めました。夫もわたしも大量の食糧貯蔵をしたかったので、一度に購入する余裕がなかったので、毎週何かを余分に買うことにしました。普段から買うもの、特に缶詰などは売り出しを狙っていました。

戸棚の中のわずかな缶詰や乾燥食品が段々と増えていくのを見るのは楽しいことでした。間違っ^てまずいチーズの缶詰を買ってしまったときは、それがなくなるまで夫が毎週覚悟を決めて食べてくれました。食糧がある

程度貯蔵できたら、今度はそれを使い始め、一つ食べたら、同じものを二つ買うことにしました。

しばらくして戸棚がいっぱいになったので、次は犬や猫に必要なものを買いました。また、香辛料や調味料、真空パックの小麦や水、ソフトドリンク、その他に食べ物以外に必要な石鹼^{せっけん}やデオドラント、洗剤などの日用品の貯蔵も始めました。

その後、家を購入しましたが、契約書に署名する直前に住宅ローンの金利が大幅に上がったのです。家を

失うのを避けるために、1年ほど食糧貯蔵に頼って生活しなければなりませんでした。

食糧貯蔵は今では家事の一部となっています。毎日利用していて、日々それによって祝福を受けています。主の預言者の靈感を受けた勧告に聞き従ったことを本当に感謝しています。今、この暖かく、居心地の良い家^を感謝の気持ちで見回すことができるのですから。■

イボンヌ・アストン（イギリス、チャンネル諸島）

さらなる自立への道

皆さんの自立度は、日々高まっていますか。

自分がどれほど自立できているのかを知るために、以下の内容に従って評価してみましょう。

この評価は自立の基準を全て網羅したものではありません。家族とともにこのテーマについて祈りながら話し合うことで、御霊から促しを受け、どうすればもっと改善できるか知ることができます。

自己評価をしたら、点数の低かった分野について目標を設定することを考えましょう。

備 え

- __ 1. 緊急用に現金を確保してある。
- __ 2. 家にはいつも緊急用品（毛布やろうそく、懐中電灯など）が備えてある。
- __ 3. 大事な書類は安全な場所に保管してあり、家族もその場所を知っている。
- __ 4. 日常的に多めに食糧や水を購入し、貯蔵している。
- __ 5. 貯蔵してある食糧は消費期限前に使い、新しいものと入れ替えるようにしている。

肉体の健康

- __ 1. 普段から運動するように心がけている。
- __ 2. 体に良いものを食べ、水分を十分取っている。
- __ 3. 知恵の言葉を守り、周りの人にもそれを勧めている。
- __ 4. 有害な物質に依存しないようにしている。
- __ 5. 十分な睡眠をとり、寝すぎないように心がけている。

財政管理

- __ 1. 貯金するために、どうすれば不必要な支出を抑えられるか考えている。
- __ 2. 日頃から預金口座や投資口座に蓄えるようにしている。
- __ 3. 不必要な借金はしない。
- __ 4. 什分の一じゅうぶんを正直に納め、断食献金を惜しみなく納めている。
- __ 5. 持ち物を大事にして長持ちするように心がけている。

教 育

- __ 1. 公的、私的を問わず、学ぶ機会を求めている。
- __ 2. より高い教育を求めるときに、奨学金や永代教育基金のような支援を活用するようにしている。
- __ 3. 自分と異なる意見や考え方について知る機会を快く受け入れている。
- __ 4. 真理を見分け、学んだことを忘れないために御霊の助けを求めている。
- __ 5. 毎日の聖文研究を自分の教育の一部としている。

雇 用

- __ 1. 仕事に必要な技能や生産性を上げるためにセミナーや会社主催の研修を受けるようにしている。
- __ 2. 他の人と協力して働くことができ、信頼されている。
- __ 3. 仕事を探す前に、履歴書や面接技術について助言を求めようとしている。
- __ 4. 求職中は常に祈り、楽観的である。
- __ 5. 仕事につながる可能性のある人と知り合う機会を求めている。

評価の基準

1 = しない, 2 = 時々する, 3 = よくする, 4 = ほとんどいつもする, 5 = いつもする



七十人会長会
L・ホイットニー・
クレートン長老

キリストに

全ての聖典の中で最も心の痛む場面の一つが、ヨハネによる福音書に記されています。それは、救い主がゲツセマネの園で、わたしたちの罪と死すべき状態の弱さのために、人の理解を超えた苦しみを負われた後に起こった出来事です（教義と聖約19：15－18参照）。

またこの出来事は、主が人々から裏切られ、捕らえられ、ユダヤ人の指導者たちから侮辱され、身体的な虐待を加えられた後に起こったことです。ポンテオ・ピラトの指示を受けたローマの兵士たちから残酷に鞭打たれた後に起こりました。いばらの冠を頭にかぶせられた後に起こったことでした。

ピラトは、イエスは十字架の刑を受けるようなことを何もしていないという結論を下し、イエスを鞭打つように命じました。鞭打ちはきわめて残酷な刑罰ですが、通常、これによって命を落とすことはありません。おそらくピラトは、このようにして救い主を拷問し辱めれば、イエスが激痛を伴う

懲らしめを受け、見せしめにされたことで、ユダヤ人の指導者たちが納得すると期待したのでしょう。いくらでも彼らの哀れみの情を呼び覚ますことができると期待したのかもしれませんが。そのためにピラトは、イエスを鞭打った後で公衆の面前に連れ出すように命じたのでした。

「見よ、この人だ」

「イエスはいばらの冠をかぶり、紫の上着を着たままで外へ出られると、ピラトは彼らに言った、『見よ、この人だ。』

祭司長たちや下役どもはイエスを見ると、叫んで『十字架につけよ、十字架につけよ』と言った。ピラトは彼らに言った、『あなたがたが、この人を引き取って十字架につけるがよい。わたしは、彼にはなんの罪も見いだせない。』」（ヨハネ19：5－6）

「見よ、この人だ」というピラトの言葉で話を中断します。話の続きと同じくらい非常に重要な言葉だからです。

このピラトの呼びかけには、深い皮

この記事と次の記事の中で、
クレートン長老と
妻のキャシー夫人は、
救い主について、
また神の子供たちが
永遠の可能性を発揮するのを
助けてくださる
救い主の能力について
証を述べています。

根を下ろす



肉が込められています。そのときのイエスは肉体的な外見こそ損なわれていましたが、「見よ」という言葉にこれほど値する人物は、男女を問わず、それまでにいませんでしたし、それ以後もいません。イエスは完全な生涯を送られました。イエスに匹敵する人はいませんでした。イエスのような生き方をした人はいませんでしたし、これからもいないでしょう。イエスは全ての徳を完全な形で備えておられました。

救い主はあらゆる点で御自分を制する力をお持ちでした。主が抱いておられた思いと同様、その情動も感情も非の打ちどころがありませんでした。無限の理解力を備えておられました。人々があらゆる視点から注目し、また吟味し、評価し、礼拝するに真に値する人物は、イエスただ御一人

でした。イエスの思いや心、感情は、誰が見ても人を落胆させるようなものではなく、その可能性もありませんでした。そのときの外見からは分からなかったにせよ、イエスは豊かな人生を体現した御方でした。

したがって、わたしたちが何よりもまず覚えておかなければならないのは、イエスが苦しまれたときのその見た目ではありません（イザヤ 53:2 参照）。その苦難に遭った肉の幕屋をお持ちのイエスの人となりこそが、わたしたち全ての者にとって絶対的に重要だったのです。その人となりか、イエスが成し遂げられたことを可能にしたのです。わたしたちの関心を引くのは、イエスの人となりのすばらしさです。

「見よ、この人だ」と言われてわたしたちが見るべきなのは、その時点では

まったくそうは見えなかったものの、イエスが最終的に悪の力に打ち勝たれたことです。イエスは、世の人が経験し得る最も激しい嵐のただ中であって、まったく心穏やかでした。敵は思いつく限りのあらゆる悪の手段を用いてイエスを攻撃してきており、またすぐにも攻撃しようとしていましたが、イエスはその全てを克服し、全てに打ち勝たれました。イエスはまったく安らかで、落ち着き払ってピラトの前に立たれたのです。

イエスがこの世の物理的要素と人類のさまざまな状況を支配する力を持っておられたことは、疑いの余地なく示されました。イエスは悪霊を追い出されました。病人を癒やし、目の見えない人の目を開け、耳の聞こえない人を聞こえるようにされました。死者



を生き返らせられました。その中には子供たちも含まれており、イエスは彼らを親のもとへ戻されました。全ての人の思いと気持ちを理解されました。罪を赦し、重い皮膚病にかかった人を清められました。ピラトとの対面の前の晩に、イエスは全人類の罪と苦痛、病、弱さという重荷を負われました。皮肉なことに、イエスはそのとき御自分を不当に扱った者たちの罪のためにも苦しめられたのです。

確かに、「見よ、この人だ」という言葉に値する御方です。イエスは生ける神の御子であり、人生の模範を示された御方であり、道を示し、道となるために遣わされた御方です。イエスはわたしたち全ての者にとって「道であり、真理であり、命である」御方です（ヨハネ 14：6）。「見よ、この人だ」という短い言葉によって、ピラトは、知らずに、無意識に、人生の最高の目的を達成するための簡単な方式を述べたのです。

救い主に目を向けるようユダヤ人に求めたとき、ピラトは、ユダヤ人にもわたしたちにも、人生を豊かなものにし、わたしたちの救いを確かなものにするこのおできになる唯一の御方を指し示していたのです。¹「神に頼って生きるようにしなさい」という戒めがあるのはこのためです（アルマ 37：47）。

主を見る際に忘れてはならないのは、主のゆえに、主が行われた全てのことのゆえに、また過去と現在の主という存在の全てのゆえに、わたしたちも勝利を収めることができるということです。わたしたちも打つ勝つことができます。試練の真ただ中で豊かに生きることができます。わたしたちが主を「見る」ことを選び、主の救い

の福音を受け入れて実践するならば、主はわたしたちを救ってくださいます。わたしたちを墮落した性質と弱さの影響から救い出し、また罪から、霊的に凡庸な状態から、究極的な永遠の失敗から救ってくださいます。主はわたしたちを清め、精錬し、美しくし、最終的には完全な状態にしてくださいませ。喜びと平安を与えてくださいます。主は、豊かな人生の鍵です。

苗から得られる教訓

妻のキャシーとわたしは、丘の中腹に住んでいます。そこにはスクラブオークの木が生えています。大きく力強いオークの木と違って、スクラブオークの木は決して大きくなりません。しかし、丈夫で美しい木です。

数年前に、わたしたちは家の玄関に通じる歩道に大きな植木鉢を置きました。そして、スクラブオークの枝の下に置かれたその鉢に、色とりどりの花を植えました。季節が変わって秋になると、スクラブオークの木はその種であるドングリを落とし始め、植木鉢の中にもそれが何個か落ちました。

春のある日、わたしはドングリが幾つか芽を出しているのに気づきました。鉢で花以外のものを育てるつもりはなかったのに、鉢の土からスクラブオークの苗を抜き取り始めました。驚いたことに、根の長さは、地表に出ている苗の3倍から4倍ありました。

アメリカ合衆国ユタ州では、夏は暑く、雨がほとんど降りません。そして冬は寒く、吹雪になります。しかし、スクラブオークの苗の深い根は、表土の下に伸びるのが早いのです。こうしてさらに伸びた根が土から水分と養

分を吸い上げるようになります。また深い根は、若い苗の頃から、木をしっかり支えて、風が吹いてもまっすぐに揺るぎなく保つことができます。深く根を張っているおかげで、スクラブオークは容易に生き延びることができるのです。最終的に苗が十分な高さに生長すると、その根が木に栄養を与え、木を守り、支え続けます。

わたしたちはスクラブオークから教訓を学ぶことができます。わたしたちは皆、暑い夏のような経験と寒い冬のような経験をします。物事がうまくいく時期、うまくいかない時期、成功と失敗、健康な時と病気の時、幸せな時期と悲しみを感じる時があります。人生が同じ状態で続くことはありません。いつも順調なわけではありません。

他の面でも、人生はスクラブオークに似ています。わたしたちは皆、生まれ育った地域や国の文化や伝統に囲まれています。そこから受ける影響の中には、良いものもあれば、良くないものもあります。人を高めるものもあれば、人を弱め、墮落させるものもあります。家庭が福音の光によって祝福されることもあれば、神の戒めを守らないために損なわれることもあります。友達の模範がすばらしく良いこともあれば、ひどく悪いこともあります。どのような人生が待ち受けているのか、誰にも分かりません。自分の健康と経済的状況が将来どうなるのか、完全には予測できません。戦争や気候の影響を予測することもできません。自分の力ではどうすることもできないさまざまな状況によって、わたしたち全員が難しい問題に直面します。

しかし木と違って、わたしたちは自分の選りによって、霊的な根を自分の人生のために意識的に育てることができます。どこに、どのくらい深く根を下ろすかを決めることができるのです。日々下す決断がわたしたちの信仰の根に与える影響は小さく、その違いはほとんど気づかないほどかもしれませんが、それが基礎となります。

救い主に根を下ろす

いつ、どんな形で難しい問題に遭遇するか分かりませんし、各人の冬や夏がいつまで続くかは分かりません。だからこそ、わたしたちの魂の養いの唯一の源である主イエス・キリストに、できる限り深く根を下ろしておかなければならないのです。主はわたしたちの人生が豊かなものになることを望んでおられます。主のもとに来よう招いておられます。主はこう言われました。「わたしに学び、わたしの言葉を聴きなさい。わたしの御霊の柔らかな道を歩みなさい。そうすれば、あなたはわたしによって平安を得るであろう。」(教義と聖約 19:23)

わたしたちは人生の嵐を乗り切るために、主について学ぶことで霊の強さを養います。研究と祈りによって学びます。義にかなった模範を見て学びます。主に仕えるために他の人々に仕えることから学びます(マタイ 25:40 参照)。できる限り主に倣おうと努めるときに学びます。

耳を傾けるとは、ただ聞くだけでなく、注意を払ってよく聴くことです。わたしたちは個人の聖文研究で主の言葉に耳を傾けます。聖餐会や神殿で耳を傾けます。聞こえてくる主の声は、

「静かな細い声」です(列王上 19:12)。生ける預言者と使徒の声に耳を傾けて、主の言葉を聞きます。

注意深く耳を傾けていると、「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言ことばで生きるものである」という言葉が心に浮かびます(マタイ 4:4)。わたしたちは少しずつ着実に成長することによって、根を強く張ります。耳を傾けると、わたしたちは主が歩まれた道を歩んでいるのです。主は豊かな人生に至る道であり、その道を照らす光であります(ヨハネ 8:12 参照)。

戒めを守る

根を張るためにできることとなすべきことには、秘訣ひけつや奇策はありません。神の戒めを守るだけです。主の御心みこころを行う能力は、わたしたちが御心を行うことによって伸びます。御心を行うのが容易になるのは、わたしたちの確信と信仰が強くなるからです。わたしたちが生活の中で福音の原則を忠実に実践し続けるとき、主は祝福としてわたしたちの内なる強さを増してください。

心のこもったふさわしい礼拝は、霊的な根を深く下ろすのに役立つ重要な要素です。敬虔な態度で聖餐会に出席して真心から聖餐を受けることによって、安息日は単なるいつもの日曜日ではなくなります。「いつも御子を覚え」ていない限り、真に根を深く下ろすことはできません(教義と聖約 20:77, 79)。集会の前に自らを備えるとき、安息日はさらに豊かな経験になります。赦しの必要性和常に御霊を受けるといふ祝福について思い巡らす

と、礼拝堂は聖所であり、聖餐は聖きよめの時であると理解するようになります。

そのために、教会へ行くときにいつも携えていかなければならないものがあります。その最たるものは、打ち砕かれた心と悔いる霊です。救い主の贖罪しよくざいがもたらす祝福を求め、それを感じたいと心から願わなければなりません。同様に、常に家に置いておかなければならないものが幾つかあります。スポーツや仕事、娯楽、買い物に対する思いは、家の戸棚に鍵をかけてしまっておかなければなりません。それを開けるのは、安息日以外の日です。心を込めて礼拝することにより、真の改心が促されます。深く信仰の根を張ることができるようになります。根の先には霊の水源があって、それは「[わたしたちのうちで] 泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがる」でしょう(ヨハネ 4:14)。

パウロは次のように述べています。

「このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのだから、彼にあって歩きなさい。

また、彼に根ざし、彼にあって建てられ、そして教えられたように、信仰が確立され[るように]しなさい。」(コロサイ 2:6-7)

個人的な嵐や干ばつを経験しなければ、根を強く張る機会はありません。皮肉なことに、順風満帆な生活は、それ自体が試練であり、しかも厳しい試練なのです。問題がない場合、気をつけていないと、わたしたちは弱くなります。ひざをかがませ、深く考えさせる試練がなければ、「自分自身や自分の思い、言葉、行いに注意を払わず、神の戒めを守らず、……信じ続け[なく]」

なってしまうかもしれません（モーサヤ 4:30）。

人生は、最善を尽くしているときでさえ、全ての人に苦痛が訪れるようにできているのです。結果として必ず悲劇に見舞われるような極端な選択をする場合は別として、わたしたちは普通、いつ、どのような形で人生の困難に見舞われるかは選べません。しかし、そのような事態にどう備えるかは日々しっかりと選択しています。ヨシュアの次の言葉を思い出します。「あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。」（ヨシュア 24:15）

次のような言葉もあります。

「狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからは行って行く者が多い。

命にいたる門は狭く、その道は

細い。そして、それを見いだす者が少ない。」（マタイ 7:13-14）

細くて狭い道の端を歩いているなら、信仰が弱くなっても当然でしょう。わたしたちが何を行い、何を行わないかが非常に重要です。行いには結果が伴い、行わないことにも結果が伴うからです。日々繰り返される、信仰に不可欠な小さな行いに注意を払わないでいると、根は弱くなってしまいます。時がたつにつれ、ゆっくりと神から離れてしまうのです。

そのため、お互いに対する口の利き方、どの本や記事を読むか、どのテレビ番組や映画を見るか、何を読まず、何を決して見ないか、どんな冗談を聞かず、また人に伝えないか、これらは全て、わたしたちが細くて狭い道のどこにいるか——中央にいるのか端に

いるのか——を表しています。行うことや行わないことが、もっと善い聖徒になることを目的としていないのであれば、根を養っているとは言えません。安全なのは細くて狭い道の中央だけです。

平安への道

主イエス・キリストに従うことに勝る生き方はどこにもありませんし、これほど確実に平安を見いだせる道も、先に進める道もありません。主の御名は、わたしたちの生活をもっと天に近づける力を持つ、天下に与えられている唯一の御名です（2ニーファイ 31:21；モーセ 6:52 参照）。わたしたちが「見る」ことのできる対象の中で、救い、更新し、変化させる力を持つ御方は救い主以外にはおられません。



救い主以外のものを選ぶ者は最終的に人生のむなしさに包まれます。その避けることのできないむなしさを、ユダは「風に吹きまわされる水なき雲、実らない枯れ果てて、抜き捨てられた秋の木」という言葉で表現しています(ユダ1:12)。

わたしたちの心の根を深くキリストに下ろさなければなりません。そうすれば、どのような難しい問題にも耐え、どのような苦しみにも打ち勝ち、信仰に対するどのような攻撃にも持ちこたえ、堅く、揺るぎなく、確固としているオークの木のようになることができますでしょう。そのように深く根を下ろしていれば、その根は時を超え、あらゆる敵、実に非常に巧妙で、目に見えず、狡猾な敵よりも長く存在し続けることができます。

岩のような強さが得られるという約束の成就は、贖い主^{あがな}の上に生活を築いているかどうかにかかっているということを、ヒラマンの言葉から学ぶことができます。「人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得えないからである。」(ヒラマン5:12) 主イエス・キリストに根を下ろすということ、また救い主の特質の幾つかが自分の中で実を結ぶようにすることの意味の本質を、イザヤはほんのわずかな言葉で表現しています。こう述べています。「主は常にあなたを導き、良き物をもってあなたの願いを満ち足らせ、あなたの骨を強くされる。あなたは潤った園のように、水の絶えない泉のようになる。」(イザヤ58:11)

救い主イエス・キリストは、あらゆる徳の模範であられます。この世に生を

受けた中で、唯一完全な御方でした。わたしたちの罪を贖ってくださいました。救い主の贖罪によって、わたしたちはキリストの人となることができるのです。わたしたちは清められ、変えられ、癒やされ、精錬されます。わたしたちの魂は美しいものとなります。

「見よ、この人だ」という言葉に、もっと完全に従い、主を仰ぎ見ることができますように。もっと敬虔に主に倣うことができますように。もっと熱心に主に従うことができますように。贖い主の岩である主に届くまで、救いの土に深く根を下ろすことができますように。主が与えてくださる豊かな人生の祝福を、ますます享受できますように。■

注
1.「天にまします永遠なる父」『賛美歌』99番参照



王位を継ぐ者

キャシー・キップ・クレートン

あなたの永遠の姿にふさわしく生活してください。

教会の責任により家族でアルゼンチンに住んでいた頃、息子とわたしは余暇を利用して興味のある場所をしばしば訪れました。その一つは、それまで見たこともないような動物園でした。

入園した人々は、眠そうにしている動物の檻おりの前を通って行くのではなく、檻の中に入って動物に触れることができたのです。訓練士の後について行き、体の大きいライオンのための囲いに行き、ライオンに触りました。ライオンはわたしたちなど気に留めていない様子でした。

どうやって巨大な猛獣たちがかみつかないように調教したのか、訓練士に尋ねました。彼らは、同じ囲いに入っている数匹の小さな犬を指し示しました。ライオンが小さかったとき、このよく吠える犬たちは容赦なくライオンたちを追い回し、ぎゅっと足をかんだそうです。ライオンの子供たちは隅の方で犬を怖がって縮こまってしまったのです。

ライオンは大きくなってからも、怖がって縮こまり続けました。大きな足で一蹴するだけで、犬たちを簡単にやっつけることができたでしょう。しかし、ライオンは自分たちの本当の姿が分かっていませんでした。百獣の王であることや、自分に大きな潜在能力があることに気づいていなかったのです。

わたしたちは皆、自信を失わせ、怖がって隅で縮こまらせるうさぎ小犬に出くわします。その中の3つを挙げましょう。

自信の欠如

わたしたちの多くは、成功よりも失敗によって自分の行ったことを評価します。100問中80問正解しても、80問正解したことを誇らしげに語るのではなく、20問間違えたことを悲しそうに認めます。自分の潜在的な能力や自分自身に自信がないために、自分の真の価値や能力が見えなくなることがあります。

不完全な知識

ニーファイは示現で救い主の母を見ましたが、神が御自身を低くされることが分かるかと聞かれて、全てのこの意味が分かっているわけではないと言いました。しかし、最初に「神がその子供たちを愛しておられる」ことを知っていると言いました(1ニーファイ11:12-17参照)。最も知らなければならないことはそのことです。不完全な知識を持つうさぎ小犬によって、教会が真実であることや神との関係について、そして途絶えることのない、力を与えてくださる神の愛に対して、わたしたちの確信を揺るがせてはなりません。

油断と不注意

悪い選択をしたり、良い選択をおろそかにすることは、現実を見る目を曇らせます。イスラエルの民が毎日マナを集める必要があったことには、象徴的な理由があります(出エジプト16:4参照)。毎日食料を集める必要があったことで、神を思い出す助けになりました。今日、聖典学習、祈り、教会への出席、互いに仕え合うことは、神の子供として受ける日々のマナで、主を思い出させてくれます。

神の霊的なDNAがわたしたちの中を流れています。わたしたちは神の息子娘であり、王位を受け継ぐ者です。人生の隅で縮こまらせる偽りのメッセージや信条、習慣は全て一蹴してください。足をかみつかれたり、怖い思いや悲しい思いをさせられることがないようにしてください。あなたの永遠の姿にふさわしく生活してください。皆さんは王位を継ぐ者なのです。

2015年9月13日、アメリカ合衆国ニューヨークで開かれた教会教育システムでの説教「潤った園のように」および「高貴な存在」参照





弟に救われて

弟のタナーが12歳になったとき、わたしは一緒に神殿に行こうと彼を誘いました。
わたしたちが後に、どれほどお互いの支えが必要になるか、当時は知る由もありませんでした。

ブリトニー・アン・ハーマン

アイダホ州ツインフォールズ神殿が奉献されたのは、わたしがもうすぐ12歳になる時のことでした。友人と定期的に神殿に参入している姉が、初めてわたしを誘ってくれたときは、本当にうれしく思いました。

それで、その3年後に弟のタナーが12歳になって、わたしもやっと一緒に神殿へ行こうと弟を誘えるようになったのは喜びでした。

神殿へ行く日の朝は、ちゃんと起きて神殿に行けるように助け合いましたが、二人とも疲れているときには、タナーは冗談を言って、お互いが目を覚ませるようにしてくれました。

神殿に行った後は、時間を取って、神殿の中で感じたことをお互いに話し合ったり、考えたことを話し合ったりしました。

わたしにとって、タナーと一緒に神殿へ行くことが、1週間のうちで最も霊的な機会となりました。定期的に神殿に参入することで、わたしたちはもっと良い友となり、そのため、試練を受けたときには、自分の想像以上にその関係から力を受けることができたのです。二人の姉が大学進学のために家を出て、わたしたちのワードも分割された結果、ワード内で活発な青少年はタナーとわたしだけになりました。

タナーもわたしも、何時間も電話をして、あまり活発に集っ



わたしたちは教会では孤独でした。他に活発に集う青少年がいなかったからです。



わたしは仕事をしているときの方がずっと楽しかったので、ミュージカルへ行くのをやめました。



しかしその後、わたしは仕事の仲間といるときには、自分の標準を下げていることに気づいたのです。



タナーは毎週わたしをミュージカルに誘ってくれました。

ていない青少年を教会やミュージカルに誘ったりしました。どんなに多くの女の子と友達になろうとしても、誰も来てくれなかったので、自分の努力が無駄だと感じるようになりました。

両親は助けようとしてくれました。わたしたちが落ち込むと、証^{あかし}をしてくれましたし、帰って来て機嫌が悪いときには、わたしたちの不満に耳を傾けてくれました。しかしそれでも、教会で突然友人が増えたり、教会に行きたい人が見つかったりすることはありませんでした。たった一人の若い女性でいることが、次第につらくなってきたのです。また、学校のスケジュールが忙しくなったために、神殿に行く頻度もだんだん減ってきました。

わたしは聖典を読むのにかなりの時間を費やし、自分を強めてくださるよう主に祈り求めています。わたしは独りぼっちで疲れていました。独りでいて、成果の見えない自分の努力に疲れていたのです。霊的にも感情的にも必死に努力することに疲れていました。

その頃、わたしは市営プールで監視員として働いていました。わたしは教会よりも、そこにいる方がずっと好きでした。

同僚たちは良い友人でしたし、いつもわたしの姿を見て喜んでくれたからです。ある日、わたしはもうミュージカルには戻らないと決意しました。仕事の方が楽しくて、経済的にも助けになったからです。

仕事の方がミュージカルよりも楽しいことが分かりました。

わたしは、標準を下げている自分に気がつくまで、それが重大な決断だったとは考えもしませんでした。わたしは、友人たちの汚い言葉について、ことさら言うことはありませんでしたが、ある日、それまでの自分では考えられないような汚い言葉を偶然口にしたことに気づき、はっとなりました。監視員の仲間たちとのパーティーで、ふさわしくない映画を見た夜もありました。わたしは自分が恐ろしくなり、自分は何をしているのだろうと考えました。

その頃、両親は、わたしがミュージカルに行かなくなってからタナーがどれほどさみしい思いをしているかを話してくれました。毎週、弟はわたしにこう尋ねてくれました。



「お姉ちゃん、今晚はミューチャルに行かないの？」 弟はミューチャルから帰宅すると、どこにも立ち寄らずに自分の部屋へ行き、長い時間聖典を読んでいました。弟は以前ほど話さなくなり、わたしが「大丈夫？」と聞いても、ただ「大丈夫じゃない」とだけ言って去って行きました。

ある晩、弟はひどい孤独感に襲われ、泣きながら帰って来ました。

わたしはそのときに、戻らなければと決心しました。自分がどれほど孤独に感じているかよりも、ただタナーがわたしを必要としているということの方が大切だったのです。

タナーは教会では家族歴史のコースを受講していたので、わたしも弟と一緒に受講することにしました。わたしたちは再び、神殿にもっと頻繁に行くようになり、今では、自分たちで先祖などの名前を調べることができるようになったのです。

日曜日には、一緒に楽しくクラスに出席しました。教会の後には、一緒に名前を探すようにしました。自分たちで見つけた名前を神殿へ持って行くことで一番良かったのは、一緒に名前を見つけることができたことですが、さらに良かったのは、教会でお互いに支え合えて、自分たちが主の業を行って

いるということで楽しく教会に行けたということです。

熱心に教会やミューチャルに出席するタナーの勤勉さは、わたしにとって大きな模範となりました。わたしは福音に対する証はありましたが、タナーのおかげで、教会の集会や活動に出席することについても証が得られたのです。

お互いの神殿の証のおかげで、 教会でも強められました。

わたしたちは、ともに慰め合い、お互いの神殿の証を活用することによって、教会に活発に集えるよう助け合うことができました。教会やミューチャルの青少年の出席はそれほど増えませんでした。タナーとわたしは以前より強くなり、互いの重荷をもっと上手に負い合って、ともに前進するために助け合えるようになりました。

わたしは、かつて一緒に神殿に行こうと弟を誘って良かったと思います。確かに弟の助けになりましたが、同時に自分も助けられたのです。■

筆者はアメリカ合衆国アイダホ州在住です。

飲み込まれないで ください

家族や友達に心を向けましょう。
近況の更新は後からでもできます。



将来に向けて **早く** 取りかかる

教会自立支援サービス
ミリアム・ベイ

トランポリンという
アイデアと
他の人々を助けたいという
願いが、
11歳の少女にとって
自立と奉仕について
すばらしい教訓を得る
原動力となりました。

ほ とんどの11歳の子供は、学校、家庭の雑用、そして友達との活動で既に大忙しです。しかし、メキシコ・ドゥランゴ州のアレクサンドラ・Cは、典型的な11歳の子供ではありませんでした。その年齢の若い子供たちが通常行う全ての事柄に加えて、アレクサンドラは、自分自身の事業で収入を得ていましたし、地元の地域社会で奉仕もしていました。

では、そのような若い少女がどうやって自分自身の会社を始めることができたのでしょうか。

アイデアから始まる

それは、人々が自立することを学べるよう教会が提供している幾つかのクラスのことをアレクサンドラが聞いたときに始まりました。クラスはおもに18歳以上の人々のものでしたが、アレクサンドラは参加することに決めました。彼女は、仕事を得る方法を学んだり、自分自身の事業を始める方法を身につけるという考えがとても気に入りました。

まさか、まだ小学生の女の子である彼女が、自分自身の将来を形作るだけでなく、彼女以上に将来を思い描けずにいる人々を助けることなどできるのでしょうか。何しろ、村の知り合いの教会員の多くは、十分に教育を受けたこともなく、資産もほとんど持っていませんでした。

アレクサンドラは、提供されている3つのテーマの一つである、「始める、育てる、わたしのビジネス」と呼ばれるグループに加わりました。これは教師によって教えられるものではなく、他のメンバーを導き話し合いを促す役割のファシリテーターを務めるメンバーが、グループ全体の進行役になるというものでした。アレクサンドラは、3か月間、毎週このグループ活動に参加しました。

アレクサンドラは物質的にも霊的にも自立する方法を学ぶにつれ、自分の地元における必要性に目を配るようになりました。彼女は、町の全ての子供たちのために十分な娯楽活動がないことに気づいたので、お金をためて小さなトランポリンを買いました。アレクサンドラは公共の場にトランポリンを置き、コースで学んだマーケティングや資金調達のアイディアを利用して、トランポリンのレンタルを始めました。

トランポリンは、彼女の地域社会で非常に人気となりました。



アレクサンドラは宿題、
トランポリン事業、
ファシリテーターの役割の
バランスを取ることを
非常によく身につけました。



労働の祝福

「職業能力を高めることで地域社会に貢献することができます。また自尊心が増します。自分と家族を現在と将来にわたり祝福します。……

真の意味で自立するには、人々とともに働くと同時に、主に頼り手の助けと力を求めることができるようにならなければなりません。」

「若人の強さのために」 40, 41

奉仕と勤勉の祝福

アレクサンドラは、他の方法でも自分のスキルを利用し始めました。彼女は、全てのグループメンバーに対して大いに敬意を示し、自分の全ての決意を守っていたので、通常なら18歳以上の人々が任される、新しいグループのファシリテーターを任されました。

アレクサンドラがファシリテーターになったとき、グループの参加者6人の中で、彼女は間違いなく最年少でした。彼女は各グループ集会の前に入念に資料を研究したので、仲間のグループメンバーを支援する最善の方法が分かっていました。新しい役割を真剣に果たしたのです。「娘は、グループのメンバーが時間どおり来なかったり、ビデオ機器が作動しなかったりしたとき、気をもんだようです」とアレクサンドラの父親、デビッドは言います。

アレクサンドラは宿題、トランポリン事業、ファシリテーターの役割のバランスを取ることを非常によく身につけました。そして彼女は、それだけの価値があることだったと考えています。「神はわたしをファシリテーターにされたとき、祝福してくださいました」と彼女は言います。彼女にとって、一つの祝福は、奉仕する人々を愛することについて学んだことです。





「自分自身を向上させることが
できることを学びました。
……わたしは、神が
預言者を召されたことと、
自立支援訓練は
神からの啓示であったことを
知っています。」

自立支援クラスについての詳細は、
lds.org/go/srjpn にアクセスしてください。

その愛は、グループメンバーが成功するようという心からの願いをもって彼らに手を差し伸べるよう導いてくれました。例えば、会うときはいつも、グループメンバーは自分の事業に対して研究したことを応用すること、学んだ福音の原則を家族に教えることを、毎週決意しました。アレクサンドラのグループの参加者が目標に到達しなかったり、クラスを休んだりすると、彼女は家まで訪問して彼らが元気かどうか確かめ、彼らが決意を果たせるよう励ますのでした。「自分のグループメンバーを訪問するのが大好きでした」と彼女は言います。

アレクサンドラの父親は次のように付け加えています。「わたしの小さな娘が、助けを必要としている人々の幸福についてそれほど強く感じるができるなんて驚きです。自分が奉仕している人々に対して大きな思いやりの心を持っているのです。」

現在、若い女性のピーハイブにいるアレクサンドラには、トランポリン事業を近くの地域社会にまで広げる計画があります。さらに自立することを学び、同じことを行うよう他の人々を助けることによって、アレクサンドラは既に自分自身と彼女のグループ内の新しい友人たちの変化を見始めていると言います。「キリストについての証が強められました」とアレクサンドラは言います。「自分にもっと自信が持てましたし、もっと奉仕したいと思っています。」

アレクサンドラは、この訓練コースのおかげで、自分が本当は何者であるのか、そしてどのように奉仕することができるのか、さらに気づくことができたと言っています。「自分自身を向上させることができることを学びました。また、グループメンバー全員が向上するのを見るのが大好きでした。わたしには、彼らをもっと良い状態になることが分かります。彼らの事業は発展することでしょう。わたしは、神が預言者を召されたことと、自立支援訓練は神からの啓示であったことを知っています。」

アレクサンドラにとって、自分の証、自尊心、そして他の人々に奉仕することは、間違いなく、努める価値のある事柄なのです。■

「教会に、わたし以外に 友達はいないと感じている 友人がいます。 彼女を助けるために 何ができるでしょうか。」

このような状況にいる彼女は、おそらく周りから認められず、孤独であると感じ、傷つきやすくなっていることでしょう。幸いにも、あなたとは友達なので、彼女を励ますためにできることはいろいろあります。

- 彼女が他の青少年と友達になるのを助ける。彼女を他の青少年に紹介し、彼らとの会話に彼女を招き、お互いをもっとよく知るために地元のワードで青少年の活動をするよう提案します。また、指導者からの助けを得られるように若い女性の会長と話をすることもできます。
- 自分の神聖な価値を認識できるように助ける。彼女が持つ偉大な資質について伝えることができます。
- 救い主の愛とあなたの愛を彼女が思い起こせるよう助ける。救い主は次のように言われました。「わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。」(ヨハネ 10:14) もし彼女が誰にも理解されていないように感じていたとしても、主は彼女がどのように感じているかを完全に御存じです。彼女のために祈ることはもちろん、彼女を教会の活動に招いたり、話しかけたりすることで彼女への愛を示します。
- 天父やイエス・キリストと彼女の関係を強めるために、聖文と祈りに心を向けるよう提案する。
- 何にも増して、たとえ大変なときであっても、常に教会に集うよう彼女を励ます。聖餐せいさんを取ることで、教会の集会で福音を学ぶことの重要性を思い出してもらいます。

たとえあなたのアイデアがすぐに良い結果を生まなかったとしても、友人に寄り添い続け、正しいことを行うよう彼女を励ましてください。



一緒になることで
さらに強くなる

他の青少年と接触するよう彼女を励まし、助けてください。わたし

たちは個人でも強いですが、一緒になればさらに強くなります。自分を教化してくれ、生活の中での支援者となり、イエス・キリストと主の福音を愛するよう助けてくれる友人をさらに多く持てば、神の王国を発展させるのをより一層助けることができるようになりますと彼女に伝えてください。

スカーレット・M, 16歳
(チリ, カウティーン県)

活動に誘う

教会に入ったとき、わたしは独りぼっちだと感じました。しかし、何人かの青少年がわたしと話そうと努力してくれました。わたしはミューチャルの活動に行き、彼らの会話にたくさん交ぜてもらいました。彼らの話に耳を傾け、わたしもたくさん話しました。彼らにほほえみかけ、彼らに対する純粋な興味を示しました。わたしからの助言は、友達が心を開くのを助けるということです。彼女が教会の活動に参加できるよう助けてください。そうすれば、彼女は多くの友人と一緒にいるのを楽しむことができるようになるでしょう。

フェイス・O, 17歳(ナイジェリア, アビア)



彼女と一緒に

わたしなら、教会でその友人を他の青少年との会話に誘ったり、一緒に活動したりしよ

うとしたいと思います。この友人がどのように感じているかについて他の仲の良い友達と話すが助けになります。彼女と一緒に活動するよう友達に助けを求めることは、彼女の必要に

ついて他の友達に認識してもらい、もっと彼女に優しくすることを思い起こさせ、一緒に会話や活動をしてもらう助けになります。

トレバー・C, 14歳
(アメリカ合衆国, アイダホ州)

自分にとって どのような存在なのかを伝える

ワードが変わったとき、わたしも同じような気持ちを感じました。そのような状況は難しいものです。彼女が自信を持ち、恐れる必要はないと理解するために、彼女がどれほど特別な存在であるか、あなたにとってどのような存在なのか、そして彼女が持つ素晴らしい特質について、その友人に伝えることが大切です。わたしたちは誰もが大切な存在なのです。自分は独りぼっちではないことを知るために、指導者と話し、祈り、聖文を読むよう彼女を励ましてください。

シャロン・G, 14歳 (メキシコ, ユカタン州)

パーティーを開く

あなたや彼女が、教会からわずかな人だけ呼んでパーティーを開くことができます。小さなグループの方が、知り合いになりやすいものです。

トライス・H, 13歳
(アメリカ合衆国, アイダホ州)

助ける備えができています

わたしたちは誰もが神の家族の一員であり、兄弟姉妹であることと、彼女は愛を示し、皆と交流を図る必要があることを理解するよう彼女を助けることができます。また、わたしたちは大きな霊的な家族の中で、お互いに助け合い、強め合う備えが常にできていることも彼女に知ってもらいましょう。わたしたちは皆、同じ目標のために努力しているのです。福音において、

わたしたちは決して独りぼっちではありません。

アンナ・カイゴロドバ姉妹
(ロシア・モスクワ伝道部)

主の導きに耳を傾ける

彼女のために祈り、彼女を助ける方法が分かるよう天父に尋ねてください。指導者に話し、教会の他の若い女性たちとの会話に彼女を招くよう努めてください。彼女の友人であり続け、最善を尽くすなら、彼女を助ける方法が分かるよう主が助けてくださることでしょう。

アナスターシア・B, 18歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)



決して独りぼっちではないことを伝える

まず、その若い女性のために祈り、彼女が若い女性のグループの一員であることを感じられるよう、全ての活動や奉仕プロジェクトに誘います。誰もこぼれ落ちることがないようにしましょう。次に、彼女に独りぼっちではないこと、天父はいつでもわたしたちとともにいてくださること、そしてわたしたちを絶えず深く愛しておられることを伝えます。預言者の次の言葉を思い出してもらいます。「つ



本当の友達

「誰もが、聖霊を常に伴^{はんりよ}侶とすることができるように、愛し、耳を傾け、道を示し、真理^{まこと}を証してくれる

真の友人を必要としているのです。皆さんはそのような真の友とならなくてはなりません。」

大管長会第一顧問
ヘンリー・B・アイリング管長
「真の友」
『リアホナ』2002年7月号, 32

らかった日々を振り返る時がいつか来ます。そのとき皆さんは、天の御父がいつもそばにいてくださったことを知るのです。」(トーマス・S・モンソン「決して独りで歩いているのではない」『リアホナ』2013年11月号, 124)

イエニファー・S, 18歳および
フェルナンド・P, 18歳
(ウルグアイ, タクアレンボ)

次回の質問

「友達が悪い言葉を使うことやビデオゲームのしすぎなどの問題を克服できるよう、どのように助けることができるでしょうか。」

あなたの意見と、希望する場合は高画質の写真を、2016年9月15日必着で liahona.lds.org からお送りください(「投稿する」をクリックしてください)。電子メールの場合は liahona@ldschurch.org までお送りください。

その際、次の情報を含めてください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載を許可するというあなたの同意文(18歳未満の場合は保護者の同意文も必要です(電子メール可))。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現のために編集されることがあります。



七十人
ティモシー・J・
ダイクス長老

神の助けによって のみ

自分が
神に頼っていると
理解すると、
わたしたちを
助けたいと
神が願って
おられることにも
気づきます。

高校3年生になると、思いも寄らない難関に挑むことになりました。新学期が始まると間もなく、弁論を教える先生がわたしに討論会への参加を割り当てたのです。クラスで勉強し、練習し、競い合って、わたしは謙虚にそこから多くの貴重な教えを学びました。

数か月後、州のスピーチコンテストの4週間前になって、先生がわたしの名前を即興演説の部門に登録してきたと、何げなく言いました。最初の日に、審査員の前で少なくとも異なる7分間の演説を3つ行わなければならないと説明し始めました。

そしてもう一つの難題は、演説のテーマは現代の社会問題から無作為に割り当てられ、準備時間はたった30分しかないということでした。わたしはがく然としました。即興演説を見たこともありません。

数週間を準備に費やし、現代の社会問題についてできるだけ新聞記事を読みましたが、それでもやはりどうしても自信がなく、不安でした。コンテストの日、わたしは主催者側にこう聞きました。「テーマはもうもらったので、少しだけ中に入って実際に他の人が話すのを聞いてもいいですか。」すると、「30分しかありませんよ。聞きたいなら、好きにしてください」と言われました。

助けを求める

その初めての大会で、わたしは中に入り、貴重な数分を聞くことに使いました。独りに

なって天の御父に祈る必要があると分かっていました。大学の敷地内の池の隣に森があるのに気づきました。そこなら人目につかずにひざまずくことができます。

わたしは天の御父に助けを求めました。勝てるようにという祈りではありません。今までにやったことのないことを成し遂げ、この難関を乗り切れるよう、聖霊の助けを求める真剣な祈りでした。神の助けが必要であることを悟ったのです。

天の御父はわたしの祈りにこたえてくださいました。勉強したことを思い出し、事実と印象を結びつけることができました。新しいテーマをもらうたびに、わたしはまずその場を



「知恵に不足している者があれば」の一節、ウォルター・レンサム イラスト/デビッド・ハッペ

離れて祈り、それから大会に臨みました。驚いたことに、次の日、わたしは最終審査に残りました。

神への信仰が証^{あかし}となり、神を近くに感じると信仰が強まりました。受けた助けを天の御父に感謝しました。行えることを全て行った後に、神はわたしが自分の力以上のことを成し遂げられるようにしてくださったのです(2 ニーファイ 25:23 参照)。

わたしは耳鼻咽喉科の専門医です。アメリカ合衆国ネバダ州のリノ市で、あるとき病院の小児科の集中治療チームを助けるよう頼まれました。彼らは早産で生まれた虚弱な男の赤ちゃんを治療していました。その小さな男の子は、生まれて数か月の間に困難な状況を乗り越え、両親や家族と一緒に住む自宅へ帰れるほど元気になりました。

しかし残念ながら、自宅で2か月過ごした後、左の肺にひどい炎症を起こして再び病院に戻って来ました。薬の投与も功を奏しませんでした。

集中治療の専門医たちは、赤ちゃんが何かを吸い込んで、それが肺に引っかかっているのではないかと疑いましたが、レントゲン写真には何も写りませんでした。状態が悪化したため、赤ちゃんが寝ている間に手術室で肺をのぞいて見よう、専門医たちはわたしに勧めました。

当時、乳児の小さな気管の奥をきちんと見るための技術はありませんでした。左の肺の感染部を見ようとしていたとき、ほんの一瞬、吸い込んだものが見えました。それは明るい黄色のクレヨンのかげらで、どんな器具も届かないところに挟まっていました。

手術室の看護師が事態の深刻さに気づき、狭い場所から結石を取り除く際に使用する細長い器具を見たことがあると言いました。彼女は素早くそれを取り出してきました。細くて柔らかいワイヤーが、らせん状の籠^{かご}の形をしていて、周囲

勝てるようにという
祈りではありません。
今までに
やったことのないことを
成し遂げられるようにという
祈りでした。



の組織を傷つけずに小さな石を回収するためにそのらせん状の籠が僅かに開くようになっていました。しかし、どうすれば患部に届かせることができるでしょう。

「わたし一人ではできません」

わたしは少しの間、小さな患者を見ていてくれるように麻酔医に頼んで、手術室の隅に行きました。「天のお父様、わたし一人ではできません。」すると、ある考えが浮かびました。「最善を尽くしなさい。わたしたちが一緒にすればできます。」

わたしは器具を手に持ち、さまざまな角度で数回、ワイヤーの籠を開閉する練習をしました。できるだけ優しく、器具を通じて細いワイヤーの籠を移動させ、クレヨンのところまで届かせました。注意深く

操作しながら、器具をクレヨンの先まで通し、籠を開いて、ゆっくりと閉じました。気道は通り、きれいになりました。

クレヨンが取り除かれ、子供は間もなく回復し元気になりました。明るい黄色のお土産の入った小さな容器とともに、彼はその週のうちに退院しました。

あたかも神の手がわたしの手を動かしているような実感があったので、わたしは神の助けを受けたと確信しています。

天の御父が下さる勧告と導きについてへりくだり証します。神の助けによってのみ、行う必要のあることを成し遂げられるときがあります。そのようなとき、いつも、「すべての道で主を認め」ましょう。「そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」のです（箴言3：6）。■

ある考えが浮かびました。
「最善を尽くしなさい。
わたしたちが一緒にすれば
できます。」





トーマス・S・
モンソン大管長

どのように ふさわしくあるか

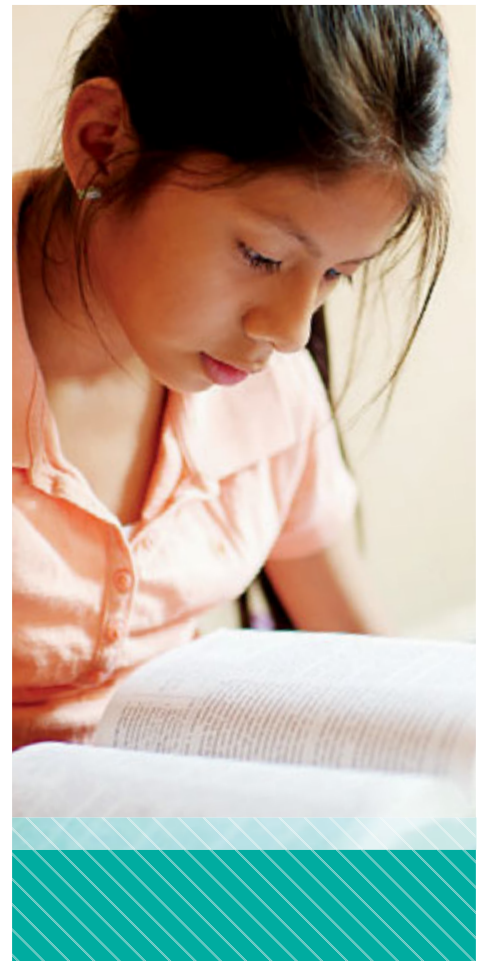
長い人生の中で、わたしは社会の道德基準の移り変わりを目にしてきました。かつては教会の標準と世の標準にほとんど差がありませんでしたが、今や大きな溝ができていて、ますます深まるばかりです。

多くの映画やテレビ番組は神の律法に反する行動を描写しています。映画やテレビで間接的にも、直接的にも表現されている汚れに身をさらしてはなりません。現代の音楽に用いられる歌詞についても同じです。今日頻繁に見られる冒瀆的な言葉は、そう遠くない昔は決して容認されなかったものです。自分が誇りに思えない言動を皆さんがしないよう心から願っています。

ポルノグラフィーには一切関わらないでください。決して見ないでください。ポルノグラフィーは克服が非常に困難な依存症です。アルコールやタバコ、その他の薬物

や、克服がきわめて難しい他の依存症も避けてください。

皆さんを周囲の罪悪から守ってくれるものは何でしょうか。救い主と福音に対する強い証^{あかし}が、皆さんを安全な場所へ導いてくれることをはっきりと申し上げます。モルモン書を読んでいなければ読んでください。よく祈って、真理を知りたいと心から望みながら読むなら、聖霊はモルモン書が真実であることを示してください。もしモルモン書が真実であれば、(実際に真実ですが)、ジョセフ・スミスは父なる神と御子イエス・キリストにまみえた預言者です。教会も真実です。これらの証をまだ持っていないければ、その証を得るために必要なことをしてください。自分の証を得ることは不可欠です。人の証にいつまでも頼ることはできないからです。一度証を得たら、それを活気づけ、生かし続けるために神の戒めを守り、定期的に祈り、聖文を研究する



必要があります。教会に出席してください。セミナーに出席してください。

人生で間違いを犯したとしても、解決方法があります。不義な行いをやめてください。ビショップと話してください。どのような問題でも、正しい悔い改めを通して正すことができます。再び清くなれます(教義と聖約 58:42 参照)。

人類の救い主は御自身のことを、世にあって世のものではないと言われました。わたしたちも偽りの概念や偽りの教えを拒むとき、世にあって世のものとならないでいられます。神の命じられたことに忠実であってください。■

2011年4月の総大会説教から。

神を探し求める



初めてセミナーに
出席したときほど
強く平安を感じたことは
ありません。

イシマエル・エゼキエル・ポランコ・
アルモンテ

まだ8歳のとき、わたしは神の属性について疑問を抱きました。ある日、父がヤコブの手紙の聖句を読んでくれました。知恵に不足する人は、「とがめもせず
に惜しみなく……与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう」という約束が記されている聖句です（ヤコブの手紙1:5）。この言葉がわたしの胸いっぱいになり、心に刻まれました。

自分の部屋に一人でいたときに、わたしは神に祈り、自分が通っている教会が正しいかどうか尋ねました。すぐに答えが欲しいと思っていましたが、その望みはかなえられませんでした。神はわたしの思いどおりにしては

くださりませんでした。わたしは祈りの答えをすぐにもらえなかったので悲しく思いました。答えをとでも知りたかったのです。できることは全てやっていたと思っていました。

大きくなると、たくさんの教会に行って自分の疑問の答えを探す機会がありました。ところが、混乱は増すばかりでした。みんなが互いに矛盾していましたし、神の属性についてのわたしの質問について言い逃れをするばかりでした。

何年もたち、探すのに疲れたわたしは「答えなどないんだ」と言いました。

パーティーやこの世的な娯楽など、現代の若者が行うようなことを頻繁に行うようになりました。最善の選択をしなかったために、毎週闇から闇へと深く沈んでいきました。悪い習慣はさ



の会員なんだ。」

自分もセミナーに行って見てみたいと彼に言いました。それが長年にわたるわたしの祈りの答えだと心で分かったのです。

翌朝、5時半に起きてセミナーに行きました。最も驚いたことは、彼らが聖書を勉強していたことでした。ドミニカ共和国マタンシタの支部の建物に入り、わたしがずっと求めていたこち良い純粋な教義を味わったときに感じた強い気持ちは片時も忘れたことはありません。賛美歌を聞いていたわたしの思いと心は、「これが真理だ」という気持ちで満たされました。

「すごい。毎日この気持ちを感じたい。」次はいつ来ていいかと尋ねると、教師である友達のお母さんがクラスのスケジュールをくれ、支部の日曜日の礼拝行事にも来るよう誘ってくれました。

それ以来、毎週月曜日から金曜日まで、5時半に起きてセミナーに行き、日曜日には教会に行きました。休みたいありませんでした。ずっと探してきたものが見つかったのです。

悲しいことに、そこには宣教師がいなかったため、教えとバプテスマを受けることはできませんでした。ずっと祈り続けた末、1年半後に宣教師がやって来て、1週間で宣教師のレッスンを全て教えてくれました。村の美しい浜辺の青い海に入ったときのことを今でも覚えています。

現在、わたしは異国人でも宿り人でもなく(エペソ2:19参照)、細くて狭い主の道に入った兄弟の一人として、その特権を享受しています。■
著者はドミニカ共和国サンティアゴ在住です。

らに、わたしをいつも支えてくれていた家族からもわたしを遠ざけました。

しかし、神に尋ねたいという望みがまた湧いてきました。わたしはこう祈りました。「お父様、わたしはこうして待っています。答えを探しましたが、見つかりません。答えが与えられるという約束が聖典にあります、まだ受けていません。御覧ください。わたしは独りぼっちです。あなた様を知りたいのに、見いだす方法を知りません。」

答えを必要としていたまさにそのとき、自分の内に火山があるかのように胸が燃えるのを感じました。後にも先にもそのような経験はありません。わたしは涙を抑えられませんでした。それが質問の答えだと分かりました。

午後学校でその答えについて考えていると、親友からこう尋ねられま

した。「イスマエル、何を考えているんだい。」そのときは本当のことを言わず、朝、日の出を見るために浜辺に行こうと考えていたと言いました。一緒に行こうと彼を誘いました。

彼はほほえみながら「行けないんだ」と言いました。

「どうして」とわたしは尋ねました。「そんなに朝早く何をしているんだい。」

「セミナーだよ」と彼は答えました。

「セミナー？ セミナーって何だい。」わたしは彼に尋ねました。教会が開いているクラスだ、と彼は説明してくれました。

「君はいつから教会に行ってるんだい。」驚いて彼に尋ねました。

「気づいたときにはもう行ってたよ。ぼくは末日聖徒イエス・キリスト教会



七十人

ランディー・D・
ファンク長老



いるべき所に いる

ところ



11 さいのとき、わたしはアメリカ合衆国のユタ州マントイに住んでいました。その年の初めに、わたしの初等協会の先生が、木を切るための小さな、きれいな手おのを買ってきてくれました。

「今年、一番たくさん初等協会に来た人が、この手おのをもらえます」と先生は言いました。そのときわたしは、毎週来ようと心に決めました。その年の終わりに、わたしは手おのをもらいました。

それからすぐに12才の誕生日にな

りました。わたしは執事に聖任されました。このころ、家族はアメリカ合衆国のウィスコンシン州マディソンに引っこしました。友達と別れるのはさびしかったです。新しい友達を作れるとわくわくしていました。マディソンは、マントイよりもずっと大きな町でした。新しい学校は大きく、教会員はあまりいませんでした。ある日、人気者の友達数人がわたしをパーティーにさそってくれました。でも、そのパーティーは教会の活動と同じ夜にありました。わたしは初等

協会の経験から、良いことは教会の集会に行っているときにあるということを読んでいました。友達に、さそってくれてありがとうと伝えて、なぜ行けないかを説明しました。

パーティーの次の日、学校ではみんながパーティーの話でもちきりでした。パーティーではみんなアルコールを飲んで、パーティーに行った人全員が、たくさん大変なことになりました。わたしは、自分がいるべき場所にいられたことに、とても感謝しました。

子供のころに初等協会や教会の

イエスに近づく

教会でわたしたちは、正しく選ぶ方法と、イエスのもっと良い弟子になる方法を学びます。この子供たちが何をしたらいいかわかるよう助けるために、あいているところに言葉を入れてください。

1. 「互いに_____なさい。」(エペソ 4 : 32)
2. 「_____は、さいわいである。」(マタイ 5 : 9)
3. 「あなたがたが同胞のために_____のは、とりもなおさず、あなたがたの神のために_____のである。」(モーサヤ 2 : 17)
4. 「どのようなことでも、_____こと、このましいこと、あるいはほまれあることや_____ことがあれば、わたしたちはこれらのことをたずね求めるものである。」(信仰箇条 1 : 13)

1



2



3



4



他の集会に行ったことを感謝しています。そこで、福音について大切なことを学びました。活動では楽しい時間をすごしました。天のお父様は、わたしたちがいるべき場所において、するべきことをしようとするときに、祝福してください。わたしたちの信仰を強めてください。ゆうわくや罪からわたしたちを守ってください。教義と聖約第 88 章 63 節でイエスは言われました。「わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたがたに近づこう。」

聖餐会など教会の集会に行くときに、わたしたちは天のお父様とイエス・キリストに近づきます。わたしたちは、一週間を通してわたしたちの決断をみちびいてくれる大切な真理を学びます。たとえわたしたちが教会にいないときでも、また、同じ信仰を持つ人たちが周りにいないときでもです。あなたが正しい生活をするときに、聖霊はあなたがどこにいて何をすべきかわかるように助けてくれます。■

おじいちゃんは、なぜゲージに
何も入っていないびんを
あげようとしたのでしょうか。

静けさが つまった 小さなびん

レイ・ゴールドラップ
本当にあったお話をもとに書かれました。

「わたしは平安を
あなたがたに残して行く。
わたしの平安をあなたがたに
あたえる。」(ヨハネ14:27)

ゲージは何も入っていない古い
びんを見つめ、手に持ってうら
返しました。それはくすんだ緑色をし
た小さなびんで、びんの口にはコルク
がはめられていました。ゲージのバプ
テスマの後、ラッセルおじいちゃんが
くれたものでした。

「これはいったい何なの。」ゲージ
が聞きました。「びんなのは分かるけ
ど……何も入っていないし。」

「おや、いっぱい入っているよ」と

おじいちゃんと言いました。

ゲージはびんをふってみました。
「でも、ほくには空に見えるけどな。」

おじいちゃんが笑いながら、コルク
を外すと、小さなびんをゲージの耳の
近くによせました。「聞こえるかい？」
おじいちゃんがささやきました。

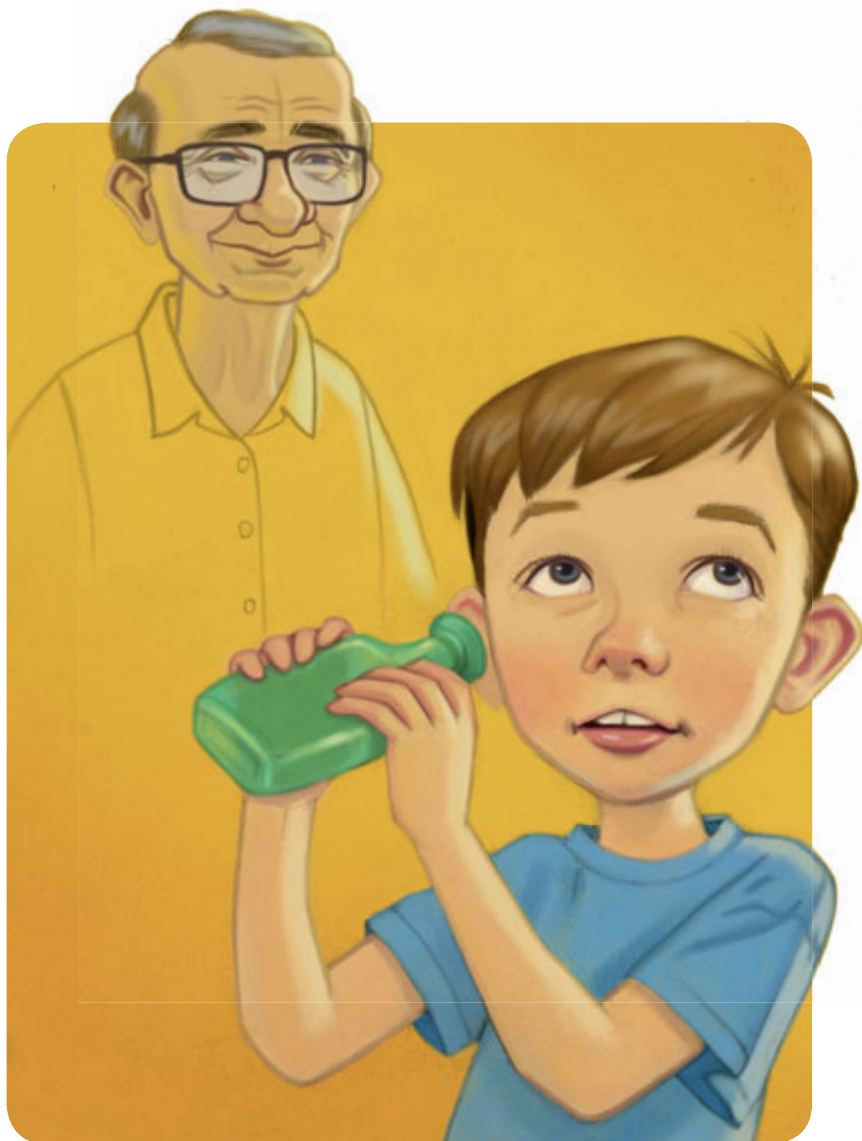
「聞こえるって何が？」ゲージもさ
ささやき返しました。

おじいちゃんにはっこりして言いまし
た。「静けさだよ。」それから、コルク
をはめ直しました。「今の世の中で、
静けさをさがすのはかなりむずかしいこ
となんだよ。まるで薬のようで、その
1てき1てきは金のように貴重なんだ。」

ゲージはありがとうを言って、おじ
いちゃんからもらった変なおくり物を
家に持って帰りました。でも、そのこ
とについてあまり考えませんでした。

2、3週間後、ビンスおじさんがな
くなりました。お葬式の後、たくさん
の親戚の人がゲージの家の居間に集
まり、話していました。ゲージはそこ
をぬけ出すと自分の部屋に行き、ド
アをしめました。1階からは、お父
さんやお母さんや親戚の人たちが静か
に話す声が聞こえます。

ゲージはつくえの上にあった古い
小さなびんを見て、手にしました。両
手で持って、びんをいろんな角度から



ながめました。おじいちゃんが、静けさは薬のようなものだと言っていたことを思い出しました。ゲージは、ビンズおじさんのお葬式の後、平安となくさめを見いだす必要がありました。

ゲージはコルクを外すと、自分の頭の上で下向きにして、静けさを少しだけ出してみるふりをしてみました。ゲージはびんの中に本当に静けさがつまっているわけではないと知っていました。でも、自分には神様を近くに感じる静かな時間が必要だということは知っていました。

なみだがこみ上げてくるのを感じました。ビンズおじさんは、もうそこに

はいないのです。おじさんのおかしな冗談も聞けないし、一緒にレスリングをすることもできないのです。おじさんがもういないことを考えると、ゲージの心はいたみました。

そのとき、静けさの中で、ゲージは心の中に何か温かいものを感じ、いたみが和らぐのを感じました。ビンズおじさんは永遠になくなってしまったわけではなく、ただ次の世に行っただけだということを思い出したのです。イエス・キリストと救いの計画によって、全ての人が永遠に生きるのです。ゲージは、いつかビンズおじさんにもう一度会えることを知っていました。

両手でびんを持ちながら、心が平安な気持ちに満たされるのを感じました。それはびんのおかげというわけではなく、聖霊によるものだと知っていました。びんはただ、静かになることで聖霊を感じられることを思い出させてくれたのです。ゲージはコルクをはめ、びんを置きました。

そして、家族や親戚のいる部屋にもどりました。自分の静かな部屋を出てからも、心の中に聖霊からの平安となくさめを持ち続けることができました。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



ローラ・グッドリッチ
ほんとうにあったお話をもとに
書かれました。

リディアは
お母さんが仕事に行く用意をするのを見ていました。お母さんがすてきなピンク色の口紅をつけると、とてもきれいに見えました。

リディアは鏡をのぞきこんで、悲しい気持ちになりました。「わたし、口紅なんて持ってないわ」とリディアは言いました。

て　こころ 手と心と え　が　お 笑顔

「だから、きれいじゃないのよ。」

お母さんはしっかりトリディアをだきしめてくれました。「口紅が人をきれいにするわけではないのよ。強くてやさしいときに、人はきれいになるのよ。あなたの手が他の人を助けているとき、あなたは強くてやさしいの。」

あなたの心がすべての人を愛するとき、あなたは強くてやさしいわ。



そして、あなたが笑顔でい
るとき、強くてやさしいのよ。
あなたの笑顔は、出会う全
ての人を幸せにするわ。

強くてやさしくいること
が、あなたの外側だけでなく、
内側もきれいにしてくれる
のよ。」

リディアは強くてやさしく
なりたと思いました。

リディアは手を使って、お
じいちゃんに手紙をとどけて
あげました。最後の一つの
チョコレートクッキー
を、いどこにあげました。

新しく近所に引っこして
きた友達と遊んだとき、心
の中に愛を感じました。家
のない人々のために寄付を
集めていた女の子にお金
をわたしたとき、心の中に
愛を感じました。



だれに会うときもほほえ
みかけると、みんながほほ
えみ返してくれました。

その夜リディアはおかあ
さんにこう言いました。「お母
さんの言うとおりであったわ。
わたし、自分が強くてやさし
い気がする。今日、手と心
と笑顔を使ったの。」

お母さんはほほえみしました。
「あなたは強くてやさしいわ。
イエス様があなたにそう望
んでおられるようにね。」

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州
に住んでいます。





十二使徒定員会

D・トッド・
クリストファーソン長老

家族はなぜ 大切なのでしょうか



家族は、
神の幸福の計画を成功させるために
最も良い方法です。

神の計画は、男女が結婚して
子供を持つということです。

神はまた、両親は家族に
イエス・キリストにしたがうように
教えなければならないと言われました。

忠実な家族は、地域や国家が
強く、健全であるように助けます。

わたしたちのページ



イエスは良い羊かいのようです。そして、わたしたちはイエスの羊です。イエスはわたしたちの世話をしたいと思っておられます。
ビクトリア・P, 10才 (ブラジル, 連邦区)



7才のとき、わたしは良い経験をしました。教会が真実を知りたかったので、おいりをして、天のお父様に聞きました。おいりが終わって、横になってねむりました。ゆめの中で、イエス・キリストがわたしに、「これは真実の教会です」とおっしゃいました。目が覚めたとき、わたしはゆめを思い出して、これが真実の教会だと分かりました。

ミランダ・R, 9才 (メキシコ, ケタロ)



ぼくは教会員であることを幸せに思っています。イエス・キリストはぼくの友達で、ぼくや家族を守ってください。ぼくは神殿に行くのが好きです。家庭の夕べや初等協会が好きです。
アンゲル・M, 11才 (パナマ, コロン)



「神への信仰」の目標として、ぼくたちはウルグアイ・モンテビデオ神殿の模型を作ることになりました。1年かかりましたが、やったかいがありました。ぼくたちの目標は、12才になるときに神殿に行けるようになることです。
サミュエル・O, 10才, エンゾ・S, 11才 (ウルグアイ, リベラ県)



あなたの番です

「わたしたちのページ」では、あなたの経験や証や写真を分かち合うことができます。親からの許可証を含めて liahona@ldschurch.org に電子メールを送るか、liahona.lds.org の「記事を送る」をクリックしてください。

あかし

証をしたサムエル

サムエルはレーマン人の預言者でした。天のお父様はサムエルに、悪いニーファイ人にくい改めを伝えるようにお命じになりました。ニーファイ人はサムエルを自分たちの町に入れようとしなかったで、サムエルは町のさかいのかべの上に立ちました。人々はかれに石を投げたり、矢を放ったりしました。でも、天のお父様はサムエルを守られました。サムエルは人々に、天のお父様が人々に聞いてほしいとおもっておられることを話しました。



あるとき、わたしは証をしななければならなくて、こわくなりました。証をしたとき、こわくなくなっていました。

チェイス・C, 6才
(アメリカ合衆国, アリゾナ州)



ローレン・P, 11才 (アメリカ合衆国, ユタ州)



切って、折って、このチャレンジカードを持ち歩きましょう！



サムエル

あかし
わたしは証することができます！

- ヒラマン第 14 章 8 節を暗唱しましょう。
- 今週、良い模範になることによって、人々がよいことを選ぶように助けましょう。
- scripturesstories.lds.org で、モルモン書物語の 40 章を見ましょう。
- わたしは _____ にチャレンジします。


わたしはモルモン書しよを読むことができます

こんげつ せいく
今月の聖句

せいくをよんだら、それにあったばんごうがついた部分ぶぶんに色をぬりましょう。

- 1 ヒラマン 10:1-7, 14-18
- 2 ヒラマン 13:1-7
- 3 ヒラマン 14:2-8
- 4 ヒラマン 16:1-5
- 5 3ニーファイ 1:10-17, 21-24
- 6 3ニーファイ 2:1-2
- 7 3ニーファイ 8:2-7, 22-23
- 8 3ニーファイ 11:3-11, 13-17, 37-39





あたら ほし
新しい星

サムエルがニーファイに話した一つはなのことは、イエス・キリストがもうすぐ生まれてこられ、救い主すくぬしになられるということでした。イエスがお生まれになるとき、新しい星あたらほしがかがやくだろうとも言いました。おこって、サムエルをきざつけようとした人ひともいました。サムエルの言葉ことばを信じて、バプテスマうを受けたいと思おもった人ひともいました。サムエルについて、76-78 ページをよみましょう。来月の読書チャレンジも楽しみにしてください。■

イエスについて教えるサムエル



サムエルは預言者でした。サムエルは教えをのべ伝えるために町のじょうへきにのぼりました。そして、くいて改めてイエス・キリストに信仰を持つ必要があると人々に伝えました。

サムエルはイエスがもうすぐお生まれになることを教えました。新しい星がかがやくことや、空は一晚中明るいままであることを伝えました。

イエスがなくなるときには、3日間暗くなり、多くの町がはいされることを教えました。





信じてバプテスマを受けた人々
 もいましたが、信じずにおこった
 人々もいて、かれに石を投げたり、
 矢を放ったりしました。でも
 神はサムエルを守られたので、
 何も害を受けませんでした。



信じなかった人々はサム
 エルをつかまえようとしま
 した。でも、サムエルは
 にげました。



5年後、イエスがお生まれになりました。新しい星が空にあらわれました。
サムエルが教えたとおりになったのです。■

ヒラマン13-15章, 3 ニーフアイ1:13-15, 21から

色をぬりましょう

わたしは^{じゅうぶん}十分の^{いち}一をおさめることができます





十二使徒定員会
マシュー・
カウリー長老
(1897 - 1953 年)

奇跡

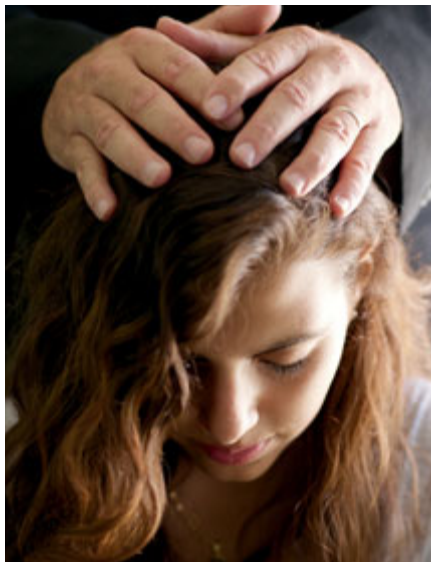
「長老たちを呼んでください。
気分が悪いので。」

1 年余り前のことです。ある夫婦が、一人の男の子を抱いてわたしのオフィスにやって来ました。父親はわたしにこう言いました。「妻とわたしは2日間断食して、今この子に祝福を与えていただくために連れて来ました。あなたに祝福していただきたくてここまで来たのです。」

「一体どうしたのですか」とわたしは尋ねました。

夫婦によると、この男の子は生まれつき三重苦で、そのうえに筋肉の釣り合いが取れないため、5歳になってもはいはいすらできないとのことでした。

わたしは、自分自身にこう言い聞かせました。「このたぐいは、祈と断食とによらなければ、追いつくことはできない。」〔マタイ 17:21 参照〕この夫婦の断食と祈りに対して確かな信仰を持つことができたわたしは、子供に祝福を与えました。すると、何週間かしてこんな手紙が来たのです。「カウリー兄弟、今あなたにわたしの子供を見ていただけたらと思います。はい回っているのです。わたしたちがボールを投げると四つんばいになってその後を追いかけます。目が見えるのです。それに、わたしたちがこの子の頭の上で手をたたくとびくっとします。



耳も聞こえるのです。」

医学では治せませんでした。神が癒やしてくださいました。……

わたしはある日、ニュージーランドの小さな村の家に呼ばれました。そこでは、扶助協会の姉妹たちが一人の聖徒の遺体を葬儀のために整えていました。そして、彼らが「大屋敷」と呼んでいる家の前にその遺体を置いたのです。それは、弔問客が来て涙を流し、嘆き悲しむための家でした。そこへ、亡くなった男性の弟が息をきり切ってやって来て、「兄さんを癒やしてください」と言うのです。

若い先住民たちは、「そんなことを言うものではない。お兄さんは亡くなったのだから」と言います。

「お願いします!」

……わたしと一緒にいたのは〔忠実な高齢のマオリ族〕でした。……若いマオリ族の男性がひざまずき、亡くなった男性に油を注ぎました。次にこの偉大な高齢の賢者がひざまずいてその男性を祝福し、起き上がるよう命じたのです。

皆さんがそこにいたら、扶助協会の姉妹たちがくもの子を散らすように逃げていく様子を目にしたことでしょうか。死んでいた男性が起き上がって、「長老たちを呼んでください。気分が悪いので」と言ったのですから。……わたしたちは今、あなたに癒やしの儀式を施したのですよと言うと、男性は、「ああ、そうだったんですか」と言いました。「わたしは死んでいたのです。丸めていた毛布が広がるように、命が自分に戻るのが分かりました。」この男性は、その日やって来て癒やしの儀式を頼んだ弟よりも、長く生きました。……

神は確かに、全ての元素を制御することがおできになります。皆さんもわたしも人に手を差し伸べることができます。そして、神の御心みこころであれば、わたしたちはその元素を神の目的を果たすために動かすことができるのです。■

“Miracles,” 『ニューエラ』(New Era) 1975年6月号, 39-44より。この記事は、1953年2月18日開催のブリガム・ヤング大学ディボーションでの説教を基に作成しました。句読点、大文字、段落は標準的なものに変更しています。

洞 察



希望を持つべき理由は何でしょうか。

「わたしたちが神に心を委ね、主イエス・キリストを愛し、最善を尽くして福音を实践するならば、いつもその結果を認識できるわけではありませんが、最終的には、明日もその次の日も、すばらしい日となることでしょう。なぜでしょうか。なぜなら、天の御父がそう望んでおられるからです。御父は、わたしたちに祝福を与えたいと望んでおられます。報いに満ちた、豊かな、永遠の生活こそ、主が御自身の子供たちのために立てられた^{あわ}憐れみ深い計画として意図されたことなのです。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト



キリストに 根を下ろす

人生の嵐に持ちこたえるのが大変ですか。クレートン長老とクレートン姉妹が、キリストにあって人生を支え、自分の本当の可能性を理解するための方法を提案しています。

42
ページ

青少年

将来に向けて 早く取りかかる

54
ページ

トランポリンがビジネスとどんな関係があるというのでしょうか。メキシコに住む11歳のアレクサンドラと会ってください。彼女が教えてくれるでしょう。



子ども



いるべき所^{ところ}に いる

66
ページ

「聖なる場所^{せいなるばしょ}に立^たてるよう、たくさん^{たくさん}の方法^{ほうほう}があります。どうすれば、どこ^{どこ}にいても聖なる場所^{せいなるばしょ}に立^たてるでしょうか。

末日聖徒
イエス・キリスト
教会